

芝西應寺町	本芝材木町
本芝下ノ町	本芝入横町
芝横筋町	芝通新町
芝松本町	芝赤羽町
三田 四丁	三田四國町
三田同朋町	三田功運町
三田臺町 二丁	三田臺裏町
芝伊皿子町	高輪臺町
高輪西臺町	芝二本榎 二丁
三田小山町	三田綱町
三田豐岡町	三田松坂町
三田北寺町	三田南寺町

三田老増町	三田君塚町
白金志田町	白金臺町 二丁
白金猿町	品川臺町
白金上三光町	白金下三光町
芝二本榎本町	芝二本榎西町
白金丹波町	白金錦町

麻布區

飯倉 六丁	飯倉狸穴町
飯倉片町	麻布我善坊町
麻布市兵衛町	麻布仲ノ町
二丁	麻布篁筒町
麻布谷町	

郡區町村編製法

麻布今井町	麻布三河臺町
麻布永坂町	麻布新網町 二丁
麻布東鳥居坂町	麻布鳥居坂町
麻布六本木町	麻布宮下町
麻布北日夕窪町	麻布南日夕窪町
麻布材木町	麻布龍土町
麻布新龍土町	麻布網代町
麻布坂下町	麻布一本松町
麻布宮村町	麻布櫻田町
麻布三軒家町	麻布斧町
新斧町	麻布霞町
麻布山元町	麻布本村町

麻布廣尾町	麻布富士見町
麻布盛岡町	麻布西町
麻布東町	麻布竹谷町
麻布新堀町	麻布田島町
麻布木村	澁谷上廣尾町
澁谷下廣尾町	澁谷廣尾町

赤坂區

元赤坂町	赤坂田町 七丁
赤坂表 四丁	赤坂裏 三丁
赤坂新町 五丁	赤坂中ノ町
赤坂一ツ木町	赤坂丹後町

赤坂臺町

赤坂氷川町

赤坂新坂町

赤坂檜町

赤坂福吉町

溜池榎阪町

溜池葵町

溜池靈南阪町

青山南町 七丁

青山北町 七丁

青山三筋町 二丁

青山六軒町

青山權田原町

青山高樹町

澁谷宮釜町

澁谷神原町

四谷區

四谷傳馬町 三丁

四谷傳馬町新一丁目

四谷忍町

四谷鹽町 三丁

四谷箆筒町

四谷阪町

四谷北伊賀町

四谷新堀江町

四谷荒木町

四谷舟町

四谷愛住町

四谷永住町

四谷尾張町

四谷仲町 三丁

四谷南伊賀町

四谷南寺町

四谷寺町

四谷須賀町

四谷左門町

四谷東信濃町

四谷右京町

四谷大番町

四谷平長町

元鮫ヶ橋町

鮫ヶ橋谷町 二丁

元鮫ヶ橋南町

千駄ヶ谷西信濃町

千駄ヶ谷大番町

千駄ヶ谷甲賀町 千駄ヶ谷町 三丁
千駄ヶ谷仲町 二丁

牛込區

市谷本村町 市谷八幡町
市谷田町 四丁 市谷船河原町
市谷佐土原町 三丁 市谷長延寺谷町
市谷左内阪町 市谷鷹匠町
市谷加賀町 二丁 市谷山伏町
市谷甲冑町 市谷柳町
市谷薬王寺前町 市谷仲ノ町
市谷片町 市谷七軒町

市谷谷町 市谷河田町
大久保余丁町 市谷富久町
神樂町 三丁 牛込肴町
牛込通寺町 牛込矢來町
牛込天神町 牛込東横町
牛込榎町 牛込南横町
牛込辨天町 牛込早稲田町
牛込早稲田南町 牛込早稲田北町
牛込馬場下町 牛込若宮町
牛込袋町 牛込岩戸町
牛込拂方町 牛込南町
牛込仲町 牛込北町

半込算筒町	半込横寺町
半込納戸町	半込細工町
半込南山伏町	半込北山伏町
半込二十騎町	半込原町 三丁
半込若松町	半込喜久井町
半込三十八町	半込破損町
下戸塚町	半込揚場町
上宮比町	下宮比町
半込津久戸前町	築土八幡町
半込白銀町	半込西五軒町
半込東五軒町	半込赤城元町
半込赤城下町	半込築地町

半込改代町
 半込中里町
 半込高田町

半込水道町
 半込山吹町

小石川區

小石川町	小石川春日町
小石川新諏訪町	小石川諏訪町
小石川江戸川町	小石川大和町
小石川水道町	小石川大門町
小石川表町	小石川仲町
小石川西富阪町	小石川上富阪町
小石川中富阪町	小石川下富阪町

小石川餅差町	小石川初音町
小石川柳町	小石川掃除町
小石川指ヶ谷町	小石川白山前町
小石川戸崎町	小石川金富町
小石川同心町	小石川竹早町
小石川久堅町	小石川原町
小石川林町	小石川太原町
小石川丸山町	小石川宮下町
小石川大塚窪町	小石川大塚町
小石川大塚阪下町	小石川大塚仲町
小石川大塚上町	小石川大塚辻町
新小石川町 三丁	西江兵川町

小日向武島町	小日向水道端 二丁
小日向第六天町	小日向茗荷谷町
小日向清水谷町	小日向臺町
小日向水道町	小日向三軒町
小日向東古川町	小日向西古川町
小日向松ヶ枝町	小日向町
櫻木町	音羽町 九丁
西青柳町	東青柳町
關口水道町	關口駒井町
關口臺町	關口町
高田老松町	高田豊川町
雜司ヶ谷町	巢鴨原町

巢鴨仲町

巢鴨駕籠町

巢鴨町 四丁

本郷區

湯島 一丁目 六丁目 本郷 六丁

本郷金助町 湯島新花町

湯島三組町 妻戀町

湯島天神町 三丁 湯島梅園町

湯嶋天神下同朋町 本郷春木町 三丁

本郷本富士町 湯島切通坂町

湯島切通町 龍岡町

湯島西門町 本郷東竹町

本郷西竹町

本郷元町 二丁

本郷弓町 二丁

本郷良砂町

本郷菊坂町

本郷田町

本郷臺町

本郷森川町

駒込東片町

駒込西片町

丸山新町

丸山福山町

駒込曙町

駒込淺賀町

駒込追分町

駒込肴町

駒込蓬萊町

駒込千駄木林町

駒込千駄木町

駒込千駄木阪下町

駒込片町

駒込吉祥寺前町

駒込富士前町

駒込上富士前町

那區町村編製法

駒込片町分

根津宮永町

根津八重垣町

根津須賀町

根津西須賀町

根津片町

根津藍染町

根津清水町

向ヶ岡彌生町

下谷區

下谷二長町

下谷竹町

下谷御徒町 三丁

練塀町

下谷仲御徒町四丁

下谷長者町 二丁

上野南大門町

下谷阪町

上野東黒門町

上野西黒門町

上野町 二丁

上野廣小路町

上野三橋町

五條町

下谷町 二丁

上野山下町

上野元黒門町

上野北大門町

下谷同朋町

下谷數奇屋町

池ノ端仲町

下谷茅町 二丁

池ノ端七軒町

下谷西町

下谷南稻荷町

下谷北稻荷町

下谷車阪町

下谷上車阪町

下谷下車阪町

下谷豊住町

下谷萬年町 二丁

下谷山伏町

上野公園地

上野花園町

郡區町村編製法

谷中清水町	谷中阪町
上野櫻木町	谷中町
谷中初音町 四丁	谷中茶屋町
谷中真島町	谷中三崎町
谷中上三崎南町	谷中三崎北町
谷中總持院町	谷中七面前町
谷中片町	下谷坂本町 四丁
下谷新阪本町	下谷阪本裏町
下谷箆筒町	下谷小野照町
下谷金杉上町	下谷金杉下町
下谷通新町	下谷善養寺町
下谷原宿町	下谷藥王寺町

下谷眞正寺町

淺草區

淺草新平右衛門町	淺草上平右衛門町
淺草下平右衛門町	淺草茅町 二丁
淺草神町	淺草新森田町
淺草新片町	淺草旅籠町 二丁
淺草新須賀町	淺草瓦町
淺草福井町 三丁	淺草新福井町
向柳原町 二丁	淺草猿屋町
淺草須賀町	淺草御藏前片町
淺草森田町	淺草南元町

郡區町村編製法

淺草市富阪町	淺草新旅籠町
淺草福富町	淺草老松町
淺草元鳥越町	淺草西鳥越町
淺草小島町	淺草北三筋町
淺草西三筋町	淺草東三筋町
淺草榮久町	淺草北富阪町
淺草北元町	淺草八幡町
淺草三好町	淺草黒船町
淺草諏訪町	淺草新猿屋町
淺草新福富町	淺草壽町
淺草森下町	淺草三間町
淺草駒形町	淺草材木町

淺草並木町	淺草茶屋町
淺草東仲町	淺草西仲町
淺草田原町 三丁	淺草高原町
淺草阿部川町	淺草南松山町
淺草北松山町	淺草七軒町
淺草永住町	淺草南清島町
淺草北清島町	淺草神吉町
淺草松葉町	淺草松清町
淺草田島町	猿若柴崎町
淺草新谷町	淺草北田原町 三丁
淺草新畑町	深草北東仲町
淺草公園地	淺草馬道町 八丁

郡區町村編製法

淺草花川戸町	淺草山ノ宿町
淺草金龍山下瓦町	淺草聖天町
淺草聖天横町	猿若町 三丁
淺草山川町	淺草田町 二丁
淺草東町	淺草象鷹町
新吉原五十間町	新吉原江戸町 二丁
新吉原揚屋町	新吉原角町
新吉原京町	淺草今戸町
淺草橋場町	淺草龜岡町 三丁
淺草吉野町	淺草山谷町
淺草町	淺草元吉町
淺草光月町	

本所區

本所元町	本所藤代町
本所横綱町 二丁	本所龜澤町 二丁
本所小泉町	本所松坂町 二丁
本所相生町 五丁	本所千歳町
本所松井町 三丁	本所林町 三丁
本所徳右衛門町	本所菊川町 二丁
本所緑町 五丁	本所花町
本所入江町	本所永倉町
本所長崎町	本所長岡町
本所清水町	本所吉田町
本所吉岡町	本所三笠町

郡區町村編製法

本所南二葉町	本所北二葉町
南本所石原町	南本所外手町
本所若宮町	本所北新町
南本所荒井町	北本所荒井町
南本所番場町	北本所番場町
北本所表町	中ノ郷原庭町
中ノ郷竹町	中ノ郷元町
中ノ郷瓦町	南本所東町
新小梅町	小梅瓦町
中ノ郷八軒町	小梅業平町
本所松倉町	中ノ郷横川町
本所横川町	本所太平町
	二丁

本所錦糸町	本所柳原町	
本所茅場町	三丁	本所花月町
柳島町	柳島横川町	
龜戸町	南本所瓦町	
本所五ノ橋町		

深川區

深川佐賀町	二丁	深川永代町
深川松賀町		深川小松町
深川相川町		深川熊井町
深川富吉町		深川諸町
深川福住町		深川伊澤町

深川一色町	深川松村町
深川黒江町	深川中島町
深川大島町	深川蛤町 二丁
深川富岡門前仲町	深川富岡門前山木町
深川富岡門前町	深川富岡公園地
深川富岡門前東仲町	深川敷矢町
深川入船町	深川島田町
深川木場町	深川茂森町
深川扇町	深川鶴歩町
深川大和町	深川龜久町
深川和倉町	深川冬木町
深川龜住町	深川萬年町 二丁

深川永堀町	深川大住町
深川東永代町	深川材木町
深川堀川町	深川中川町
深川富田町	深川西永代町
深川今川町	深川清住町
深川伊勢崎町	深川西平野町
深川東平野町	深川山本町
深川西永町	深川吉永町
深川久永町	深川島崎町
深川三好町	深川元加賀町
深川扇橋町	深川東大工町
深川靈巖町	深川仲大工町

深川裏大工町	深川西元町	深川安宅町	深川西六間堀町	深川常盤町	深川東森下町	深川富川町	深川東町	深川泉養寺町	深川下大島町	深川猿江町	深川石島町
深川西大工町	深川八名川町	深川御船藏前町	深川東六間堀町	深川西森下町	深川東元町	深川西町	深川猿江裏町	深川北松代町	深川上大島町	深川東扇橋町	深川末廣町
								四丁			

深川豐住町	深川平富町	深川牡丹町	深川平久町	深川洲崎町	深川佃町	深川越中島町	越中島新田
	二丁		二丁				

荏原郡

白金村	三田村	品川歩行新宿	南品川獵師町	二日五市村	上大崎村	今里村	北品川宿	南品川利田新地	南品川宿	下大崎村	谷山村
-----	-----	--------	--------	-------	------	-----	------	---------	------	------	-----

郡區町村編製法

桐ヶ谷村	居木橋村
戸越村	下蛇窪村
上蛇窪村	中延村
小山村	下目黒村
中目黒村	上目黒村
碑文谷村	池尻村
池澤村	三宿村
太子堂村	若林村
下北澤村	代田村
下馬引澤村	野澤村
中馬引澤村	上馬引澤村
衾村	石川村

雪ヶ谷村	池上村
馬込村	大井村
不入斗村	新井宿村
市野倉村	馬込領桐ヶ谷村
堤方村	下池上村
徳持村	蓮沼村
女塚村	御園村
北蒲田村	大森村
下袋村	麴谷村
濱竹村	蒲田新宿村
萩中村	鈴木新田
羽田獵師町	羽田村

雜色村
 町屋村
 市川村
 小林村
 原村
 古市場村
 鴨之木村
 嶺村
 道々橋村
 上沼部村
 奥澤村
 深澤村
 八幡塚村
 高畑村
 道塚村
 安方村
 今泉村
 矢口村
 下丸子村
 久々原村
 下沼部村
 尾山村
 等々力村
 世田々谷村新町

弦卷村
 赤堤村
 上北澤村
 用賀村
 野良田村
 下野毛村
 世田々谷村
 松原村
 經堂在家村
 瀬田村
 上野毛村

東多摩郡

中野村
 上高田村
 新井村
 上沼袋村
 本郷村
 片山村
 下沼袋村
 江古田村

下鷺宮村	雜色村	堀之内村	永福寺村	馬橋村	成宗村	上萩窪村	上高井戸村	中高井戸村	大宮前新田	阿佐ヶ谷村	上井草村
上鷺宮村	和田村	和泉村	田端村	高園寺村	下萩窪村	下高井戸村	久我山村	松瀧村	天沼村	下井草村	

南豊島郡

内藤新宿三丁	内藤新宿番衆町	内藤新宿添地町	東大久保町	西大久保村	下戸塚村	中里村	源兵衛村	戸塚村	下落合村	柏木村
内藤新宿北町	内藤新宿北裏町	内藤新宿南町	東大久保村	大久保百人町	早稻田村	牛込村	諏訪村	上落合村	葛ヶ谷村	角筈村

郡區町村編製法

千束村	下谷龍泉町	三ノ輪村	地方山谷町	地方橋場町	北豐島郡	中澁谷村	原宿村	上豐澤村	千駄谷村	幡ヶ谷村
淺草六軒町	龍泉寺村	三河島村ノ内 彦五郎分	千住南組	地方今戸町		下澁谷村	下豐澤村	上澁谷村	穗田村	代々木村

下十條村	灘野川村	駒込妙義坂下町	上駒込村	田端村	上中里村	堀ノ内村	日暮里村	谷中村	下尾久村	三河島村	坂本村
上十條村	王子村	西ヶ原村	駒込染井町	下駒込村	中里村	船方村	豐嶋村	谷中本村	上尾久村	町屋村	金杉村

神谷村	下村
岩淵本宿町	袋村
赤羽村	稻附村
本蓮沼村	小豆澤村
志村	小石川村
小石川六藏分	巢鴨村
新田堀之内村	雜司夕谷村
高田村	高田若葉町
高田千登世町	雜司夕谷旭出町
池袋村	金井窪村
中丸村	下板橋宿
上板橋宿	長崎村

前野村	中臺村
西臺村	根葉村
上蓮沼村	德丸木村
德丸脇村	四ノ葉村
下赤塚村	上赤塚村
成増村	下練馬村
上練馬村	中新井村
中村	谷原村
田中村	下土支田村
上土支田村	下石神井村
上石神井村	關村
竹下新田	

南足立郡

千住中組

本木村

沼田村

小臺村

鹿濱新田

加々皿沼村

興野村

舍人町

入谷村

栗原村

嶋根村

千住北組

堀之内村

宮城村

鹿濱村

谷在家村

高野村

西新井村

古千谷村

伊興村

梅田村

竹塚村

保水間村

小右衛門新田

花叉村

長左衛門新田

久左衛門新田

佐野新田

長右衛門新田

北三谷村

伊藤谷村

嘉兵衛新田

彌五郎新田

六月村

内匠新田

久右衛門新田

辰沼新田

六ッ木村

大谷田村

蒲原村

普賢寺村

五兵衛新田

次郎左衛門新田

南葛飾郡

小梅村	須崎村
中ノ郷村	請地村
小村井村	大畑村
木ノ下村	寺島村
善左衛門村	若宮村
隅田村	堀切村
小谷野村	柳原村
小管村	下千葉村
上千葉村	砂原村
龜有村	青戸村
寶木塚村	篠原村

郡區町村編製法

四ッ水村	澁江村
澁江村上知	川端村
梅田村	中原村
淡野須村	立石村
原村	上木下川村
下木下川村	葛西川村
龜戸村	柳島村
押上村	深川本村
毛利新田	中ノ郷出村
猿江村	大島村
舊靈巖寺領大嶋村	小名木村
六間堀出村	深川出村

平方村	北本所出村
南本所出村	又兵衛新田
荻新田	太郎兵衛新田
中田新田	大塚新田
龜高村	治兵衛新田
久左衛門新田	八右衛門新田
海邊新田	永代新田
千田新田	石小田新田
平井新田	砂村新田
八郎右衛門新田	西船堀村
東船堀村	西宇喜田村
東宇喜田塚	長嶋村

桑川村	下今井村
二ノ江村	上今井村
東一ノ江村	西一ノ江村
東小松川村	西小松川村
逆井村	下平井村
中平井村	上平井村
上小松村	下小松村
本一色村	奥ノ宮村
松本村	鹿骨村
新堀村	一ノ江新田
谷河内村	下鎌田村
當代島村	前野村

郡區町村編製法

上鎌田村	伊勢屋村
下篠崎村	上篠崎村
笹ヶ崎村	下小岩村
上一色村	興戸新田
興戸村	細田村
曲金村	鎌倉新田
上小岩村	中小岩村
伊豫田村	小岩田村
柴又村	新宿町
金町村	下小合村
上小谷村	小合新町
猿ヶ又村	飯塚村

(參考)

明治十一年十一月二日
東京府甲第五十號布達

今般區郡制定ニ付テハ右區郡役所左ノ場所へ設置來ル
ル四日開廳事務取扱候條此旨布達候事

麴町區役所	麴町隼町八番地
神田區役所	小川町二番地元小川女學校跡
日本橋區役所	岩代町一番地舊區務所
京橋區役所	築地一丁目四番地同上
芝區役所	芝公園地大門通安養院
麻布區役所	麻布宮村町三十七番地舊區務所
赤坂區役所	赤坂表三丁目五番地
四谷區役所	四谷傳馬町一丁目廿一番地舊區務所
牛込區役所	神樂町三丁目三番地

郡區町村編製法

小石川區役所 小石川表町廿三番地
 本郷區役所 湯嶋切通町八番地根生院
 下谷區役所 上野公園地内下寺通修禪院
 淺草區役所 淺草諏訪町四番地舊區務所
 本所區役所 元町廿三番地舊區務所
 深川區役所 深川伊勢崎町二十二番地
 荏原郡役所 北品川宿百七十七番地
 東多摩郡役所 内藤新宿二丁目廿八番地
 南豐嶋郡役所 下板橋宿六十八番地
 北豐島郡役所 千住北組十五番地
 南足立郡役所 西小塚川村百五十八番地
 南葛飾郡役所

(參考) 明治十一年十一月二日東京府甲第五十五號布達

本年府廳甲第四十九號布達郡區編製ノ儀ハ行政上區郡ノ區域相立候儀ニテ地理上ニ於テハ區ノ域内ト雖也從前ノ通郡界相存シ候儀ト心得ヘシ且區ノ域内ニ係ル南北豐嶋郡ノ儀ハ江戸川神田川ヲ以テ其經界ニ相定候條此旨布達候事

(參考) 明治十一年十一月十五日東京府ヨリ伊豆國七島ヲ除ク區郡役所ヘ達

本年甲第四十九號布達ヲ以テ大小區畫相廢止候處山林原野改租事業之儀ハ調査ノ都合有之ニ付從前ノ組合ヲ以從事候儀ト可相心得此旨相達候事

(參考) 明治十一年十一月東京府甲第五十三號布達

府下各郡内町村へ別冊之通戸長ヲ置キ候條此旨布達候事

荏原郡

白金村

三田村

今里村

右へ 戸長壹人

品川步行新宿

北品川宿

右へ 戸長壹人

南品川宿

南品川獵師町

南品川利田新地

二日五日市村

右へ 戸長壹人

大井村

右へ 戸長壹人

不入斗村

新井宿村

右へ 戸長壹人

大森村

右へ 戸長壹人

麴谷村

萩中村

下袋村

濱竹村

右へ 戸長壹人

羽田村

右へ 戸長壹人

羽田獵師町

鈴木漸田

右～ 戸長壹人

上大崎村

下大崎村

桐ヶ谷村

谷山村

居木橋村

右～ 戸長壹人

戸越村

上蛇窪村

下蛇窪村

右～ 戸長壹人

小山村

中延村

右～ 戸長壹人

馬込村

右～ 戸長壹人

市野倉村

堤方村

下池上村

久ヶ原村

徳持村

馬込領 桐ヶ谷村

右～ 戸長壹人

北浦田村

女塚村

御園村

右～ 戸長壹人

蒲田新宿村

右～ 戸長壹人

八幡塚村

紺色村

右～ 戸長壹人

下目黒村

中目黒村

郡區町村編製法

右へ 戸長壹人
 上目黒村
 右へ 戸長壹人
 碑文谷村
 右へ 戸長壹人
 下北澤村
 右へ 戸長壹人
 松原村
 上北澤村
 右へ 戸長壹人
 若林村
 三宿村
 代田村
 赤堤村
 太子堂村
 池尻村

池澤村
 右へ 戸長壹人
 下馬引澤村
 上馬引澤村
 右へ 戸長壹人
 衾村
 右へ 戸長壹人
 瀬田村
 右へ 戸長壹人
 上沼部村
 石川村
 右へ 戸長壹人
 中馬引澤村
 野澤村
 用賀村
 下沼部村

世田夕谷村 經堂在家村

右 戸長壹人

弦卷村 世田夕谷新町

深澤村

右 戸長壹人

尾山村 奥澤村

右 戸長壹人

野良田村 上野毛村

下野毛村 等々力村

右 戸長壹人

町屋村 古川村

道塚村 原村

小林村 安方村

蓮沼村 高畑村

右 戸長壹人

矢口村 下丸子村

古市場村 今泉村

右 戸長壹人

鶉ノ木村 嶺村

右 戸長壹人

道々橋村 雪々谷村

池上村

右 戸長壹人

東多摩郡

中野村

右～ 戸長壹人

本郷村

右～ 戸長壹人

和田村

堀ノ内村

和泉村

永福寺村

右～ 戸長壹人

高圓寺村

馬橋村

阿左少谷村

天沼村

右～ 戸長壹人

下高井戸村

上高井戸村

右～ 戸長壹人

片山村

江古田村

上鷺宮村

下鷺宮村

右～ 戸長壹人

上高田村

新井村

下沼袋村

上沼袋村

右～ 戸長壹人

上井草村

下井草村

右～ 戸長壹人

成宗村

田畑村

下荻窪村

上荻窪村

右～ 戸長壹人

那區町村編製法

大宮前新田 久我山村
松庵村 中高井戸村

右～ 戸長壹人

南豊島郡

下澁谷村

下豊澤村

右～ 戸長壹人

穂田村

上豊澤村

上澁谷村

中澁谷村

右～ 戸長壹人

千駄ヶ谷村

原宿村

右～ 戸長壹人

内藤新宿 三丁

内藤新宿南町

内藤新宿北町

内藤新宿北裏町

内藤新宿番衆町

内藤新宿添地町

右～ 戸長壹人

角筈村

右～ 戸長壹人

柏木村

右～ 戸長壹人

代々木村

幡ヶ谷村

右～ 戸長壹人

東大久保村

西大久保村

諏訪村

大久保百人町

區郡町村編製法

東大久保町

右～戸長壹人

上落合村

下落合村

葛ヶ谷村

右～戸長壹人

下戸塚村

源兵衛村

戸塚村

牛込村

早稻田村

中里村

右～戸長壹人

北豊島郡

雑司ヶ谷村

高田村

高田千登世町

高田若葉町

雑司ヶ谷旭出町

右～戸長壹人

小石川村

巢鴨村

新田堀之内村

小石川六藏分

右～戸長壹人

池袋村

中丸村

金井窪村

右～戸長壹人

下駒込村

上駒込村

駒込染井町

駒込妙義坂下町

右～戸長壹人

郡區町村編製法

田端村

中里村

上中里村

右～ 戸長壹人

西夕原村

瀧野川村

右～ 戸長壹人

堀ノ内村

船方村

豊島村

右～ 戸長壹人

王子村

右～ 戸長壹人

上尾久村

下尾久村

右～ 戸長壹人

谷中本村

谷中村

日暮里村

右～ 戸長壹人

金杉村

右～ 戸長壹人

三河島村

町屋村

右～ 戸長壹人

坂本村

右～ 戸長壹人

千束村

龍泉寺村

三才輪村

三河島村ノ内
彦五郎分

下谷龍泉町

右～ 戸長壹人

地方橋場町

地方今戸町

地方山谷町

右～ 戸長壹人

千住南組

右～ 戸長壹人

下板橋宿

右～ 戸長壹人

上板橋宿

右～ 戸長壹人

長崎村

右～ 戸長壹人

下練馬村

右～ 戸長壹人

上練馬村

右～ 戸長壹人

中新井村

中村

右～ 戸長壹人

谷原村

田中村

右～ 戸長壹人

上土支田村

下土支田村

右～ 戸長壹人

上石神井村

關村

竹下新田

右～ 戸長壹人
 下石神井村
 右～ 戸長壹人
 上十條村
 右～ 戸長壹人
 神谷村
 右～ 戸長壹人
 稻附村
 右～ 戸長壹人
 岩淵本宿町
 右～ 戸長壹人
 西臺村
 下村
 赤羽村
 袋村
 上運沼村

根葉村
 右～ 戸長壹人
 志村
 小豆澤村
 右～ 戸長壹人
 中臺村
 右～ 戸長壹人
 德丸本村
 四ッ葉村
 右～ 戸長壹人
 下赤塚村
 右～ 戸長壹人
 本運沼村
 前野村
 德丸脇村

上赤塚村 成増村

右〜 戸長壹人

南足立郡

千住中組

右〜 戸長壹人

千住北組

右〜 戸長壹人

本木村

右〜 戸長壹人

小塚村

沼田村

宮城村

堀之内村

右〜 戸長壹人

鹿濱村

鹿濱新田

加々皿沼村

右〜 戸長壹人

栗原村

興野村

梅田村

右〜 戸長壹人

西新井村

高野村

谷在家村

右〜 戸長壹人

鳴根村

竹塚村

右〜 戸長壹人

保木間村

六月村

右〜 戸長壹人

伊興村

右〜 戸長壹人

舍人町

入谷村

古千谷村

右〜 戸長壹人

彌五郎新田

伊藤谷村

次郎左衛門新田

五兵衛新田

小右衛門新田

右〜 戸長壹人

北三谷村

蒲原村

長右衛門新田

大谷田村

佐野新田

普賢寺村

右〜 戸長壹人

久右衛門新田

辰沼新田

長左衛門新田

久左衛門新田

六ッ木村

嘉兵衛新田

右〜 戸長壹人

花又村

内匠新田

右〜 戸長壹人

南葛飾郡

中ノ郷村

小梅村

郡區町村編製法

右〜 戸長壹人

須崎村 右〜 戸長壹人

寺島村 右〜 戸長壹人

隅田村 右〜 戸長壹人

善左衛門村 右〜 戸長壹人

請地村 右〜 戸長壹人

葛西川村 右〜 戸長壹人

大畑村 右〜 戸長壹人

若宮村

小村井村

下木下川村

上木下川村

右〜 戸長壹人

小谷野村

小菅村

柳原村

右〜 戸長壹人

堀切村

下千葉村

上千葉村

右〜 戸長壹人

四ツ木村

澁江村

篠原村

寶木塚村

右〜 戸長壹人

青戸村

龜有村

郡區町村編製法

砂原村

右～ 戸長壹人

中原村

梅田村

川端村

澁江村上知

立石村

原村

淡野須村

右～ 戸長壹人

龜戸村

右～ 戸長壹人

柳島村

押上村

右～ 戸長壹人

猿江村

毛利新田

大島村

平方村

舊靈嚴寺領大島村

小名木村

中之郷出村

深川本村

六間堀出村

深川出村

南本所出村

北本所出村

右～ 戸長壹人

海邊新田

永代新田

千田新田

八右衛門新田

久左衛門新田

右～ 戸長壹人

治兵衛新田

龜高村

萩新田

大塚新田

郡區町村編製法

又兵衛新田

太郎兵衛新田

中田新田

八郎右衛門新田

右～ 戸長壹人

平井新田

石小田新田

砂村新田

右～ 戸長壹人

逆井村

下平井村

右～ 戸長壹人

中平井村

上平井村

右～ 戸長壹人

西小松川村

右～ 戸長壹人

東小松川村

右～ 戸長壹人

下小松村

上小松村

奥戸村

奥戸新田

右～ 戸長壹人

西船堀村

東船堀村

右～ 戸長壹人

西宇喜田村

右～ 戸長壹人

東宇喜田村

右～ 戸長壹人

長島村

桑川村

右〜戸長壹人
 西一ノ江村
 右〜戸長壹人
 東一ノ江村
 右〜戸長壹人
 二ノ江村
 右〜戸長壹人
 上今井村
 右〜戸長壹人
 上鎌田村
 當代嶋村
 伊勢屋村
 一ノ江新田
 下今井村
 下鎌田村
 前野村

右〜戸長壹人
 上篠崎村
 笹久崎村
 右〜戸長壹人
 谷河内村
 鹿骨村
 右〜戸長壹人
 本右色村
 奥ノ宮村
 右〜戸長壹人
 下小岩村
 右〜戸長壹人
 下篠崎村
 新堀村
 上一色村
 松本村
 伊豫田村

郡區町村編製法

中小岩村

小岩田村

上小岩村

柴又村

右〜 戸長壹人

細田村

曲金村

鎌倉新田

右〜 戸長壹人

新宿町

右〜 戸長壹人

金町村

右〜 戸長壹人

下小合村

上小合村

小合新田

右〜 戸長壹人

飯塚村

猿ヶ又村

右〜 戸長壹人

(参考) 明治十一年十一月八日
東京府甲第六十號布達

東多摩郡役所之儀内藤新宿ニ假設候處今般本郡中野
村百拾貳番地ニ相移シ候條此旨布達候事

(参考) 明治十一年十一月七日
警視局甲第五十九號達

今般區畫改正相成候ニ付テハ兼テ當署ヨリ附與致シ
候諸鑑札〜區名記載有之分ハ追テ書換候迄所持不苦
此旨布達候事

○府縣會規則 民鑑附錄卷

(參考) 明治十一年七月二十二日太政官第十八號布告

府縣會規則左ノ通被定候條此旨布告候事

〔府縣會規則ハ本朝民鑑附錄卷之四九百九十一丁以下ニ列載スルヲ以テ此所ニ畧ス〕

(參考) 明治十一年十一月内務省乙第七十一號ヲ以テ府縣會達

本年第十八號布告中左ノ條々處分心得ノ爲メ相違候事

第十一條 議長副議長云々其議長ヲ撰舉スル會議ハ議員ノ申合ヲ以テ假議長ヲ撰ムヘシ

第十二條 議長議員ノ旅費日當及書記ノ俸給旅費日當ハ直ニ會議ニ議定セムヘシ

但シ縣廳ヨリ其額ヲ假定シ議會ニ付スルモ妨ケナシ

第十三條 第十四條 議員及撰舉人タルヘキ者ノ年齢ハ撰舉會期月マテヲ通算スヘシ

第十七條 但書投票ハ代人云々ト有ントモ町村戸長ハ代人トナス可カラズ

(參考) 明治十一年十一月内務省乙第七十二號ヲ以テ府縣會達

本年第十九號布告中左ノ條處分方心得ノ爲メ相違候事

府縣會規則

第三條 第十二項戸長ニ附屬スル用掛筆生手傳人等
ヲ雇フキハ郡區長ノ許可ヲ得戸長ニ於テ申付可シ
但給料等ハ府知事縣令適宜決定スヘシ

(參考) 明治十一年十一月十五日內務省
乙第七十六號ヲ以テ府縣ニ達

本年第十八號公布中左ノ條々處分方心得ノ爲メ相達
候事

第十條 府縣會議員ハ郡區ノ大小云々其一郡ヨリ出
ス所ノ議員共ニ議長副議長ニ選ハル、トアルモ議
長副議長ハ其郡ノ議員タル本分ヲ失フモノニ非カ
レハ更ニ議員ヲ補選スルコト及ハス
第十三條 府縣ノ議員タルヲ得ヘキ者云々第十四條

議員ヲ選舉スルヲ得ヘキ者云々此二個條ニ定ムル
限内ノ者ハ戸主ニ非スト雖モ議員トナリ及議員ヲ
選舉スルコトヲ得ヘシ

第廿四條 議員ノ欠ヲ補フ爲メ選ハレタル議員ノ任
期ハ其補フ所ノ先議員ノ選ハレタル年ヨリ通算ス
ヘシ

(參考) 明治十一年十二月廿日內務省
乙第八十六號ヲ以テ府縣ニ達

本年第拾八號布告中左ノ條々心得ノ爲メ相達候事
一 已ニ議員ニ舉ケラレタル者ト雖モ在任中其所有ノ
地租減少シテ成規ノ高ニ及ハサルキハ退任セシム
ヘシ

一 議員及選舉人トナルヲ得ヘキ者其所有地ヲ質入書入トナスモ所有權ヲ移轉スルニ非サルヲ以テ仍ホ議員及選舉人トナルノ權ヲ失フイナシ

一 新律綱領頒布後徒一年以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ第拾三條第二款ニ依リ議員タルコトヲ得ス

(參考)

明治十一年十一月東京府ヨリ郡區役所へ達

府會議員投票用紙配付當選狀文例當撰人請書文例等別紙ニ照準取扱候儀ト可相心得此旨相達候事

投票用紙配付心得

第一條 投票用紙ハ左之書式ニ依リ製スヘシ

第號

程村紙四ツ切

某區郡府會議投票用紙		
被選人	姓名	住所
何某	何某	何區何町何番地 何郡
何某	何某	何區何町何番地 何郡
撰舉人	姓名	住所
何某	何某	何區何町何番地 何郡
何某	何某	何區何町何番地 何郡

年齡ハ生年月日ヲ記スモ妨ナシ

第二條 投票用紙ハ撰舉會ニ先タテ被撰人撰舉人ノ員數ト議員ノ員數トニ應シ之ヲ製シ(假令ハ被選舉人合セテ千人ニシテ其區郡ヨリ議員五人ヲ出スル

府縣會規則

ハ用紙五千枚ヲ製スルノ類番號ニ記シ封筒ヲ添ヘ
各町村毎ニ配付帳ヲ以テ之ヲ被選人撰舉人ニ配達
▼名下ニ印ヲ押サシメ其落手ヲ記スヘシ

當選狀文例左ノ如シ

投票ノ數幾何

當郡區府會議員當選相成候條此旨及御達候事

明治何年何月幾日

某郡區長何某役印

當撰人請書文例左ノ如シ

今般當郡區府會議員自分當撰相成候旨御達之趣致承
知則及御請候也

明治何年何月幾日

何某實印

某郡區長何某殿

(參考) 明治十一年十一月廿五日
東京府甲第六十六號布達

府會議員初度撰舉ノ員數左之通相定候條本年第十八
號公布府縣會規則ニ依リ郡區共來ハ十二月中ニ選舉
相開シヘシ此旨布達候事

但投票期日選舉會場等ハ郡區長ヨリ可相達候條此
旨可心得事

- 麴町區二人 神田區三人 日本橋區三人
- 京橋區三人 芝區三人 麻布區二人
- 赤坂區二人 四谷區二人 牛込區二人
- 小石川區二人 本郷區二人 下谷區二人
- 淺草區三人 本所區三人 深川區三人

荏原郡二人 東多摩郡二人 南豐島郡二人
 北豐島郡二人 南足立郡二人 南葛飾郡二人
 右ニ掲ケル議員ノ數ハ其郡區割當ノ定員ニ付選舉候
 節ハ某郡區議員ノ名ヲ表スヘシ尤議員タルヘキ者ハ
 廣ク管内ニ通シ相選ムヘキ規則ニ候條此旨心得ヘシ

(參考) 明治四十一年十一月十四日東京府
 丙第四十九號ヲ以區郡役所ニ達

府會議員撰舉方ニ付被撰人名簿並撰舉人名簿別紙ニ
 照準豫メ編制可致此旨相達候事

被選人名簿編制心得

第一條 被選人名簿ハ各區郡役所ニ於テ之ヲ編制ス
 へシ其式如左

名簿ハ豎一尺五寸横一尺濫引厚紙ノ堅帳ヲ用ヒ
 被選人名刺ヲイロハ分クニシ半面ニ四葉宛ヲ貼
 付ス

第二條 名簿ニ貼付スヘキ被選人名刺ハ各區郡役所
 ニ於テ左ノ式ニ依リ之ヲ製シ本人ニ示シ記名調印
 セシメ區ハ主任書記郡ハ戶長ヲシテ簿記ニ就キ之
 ナ照査シ抵觸スル所ナク且府縣會規則第十三條ノ
 第一款ニ觸レサルキハ其書記或ハ戶長ヲシテ記名
 調印セシムヘシ
 名刺ノ式 本人家族或ハ附籍同居タル
 時ハ朱書ノ文字ヲ加フヘシ
 用紙程村紙八ツ切

某區某町何番地
居住
借地
借宅
平民
何誰何々
姓
何年何月何日生

本籍ヲ定メ滿東京府下ニ於テ一年
三年以上住居地租十圓以上ヲ納ム
官吏及教導
職ニ非ス

懲役一年以上實決ノ刑ニ處セラレタルヲ無シ

身代限ノ處分ヲ受負債ノ辨償ヲ終ヘサル者ニ非ス

右之通相違無之候也

姓 名 實 印

明治何年何月何日

右當役所現在ノ簿記ニ照シ抵觸スル所無ク且府
縣會規則第十三條第一款ニ觸ル、者ニ無之候事

某區書記 姓 名 印
町村戸長

明治何年何月何日

第三條 被選人名簿ハ議員ノ欠員ヲ選舉シ及ヒ次後
選舉會ノ用ニ充ツルカ爲ニ其異動ニ隨ヒ加除ヲ爲
スヘシ其式如左

第一 甲區郡ノ被選人乙區郡ニ轉籍スルキハ甲區
郡ノ名簿ヲ除キ名刺ヲ乙區郡役所ヘ送達シ其役所
ニ於テハ其名刺ノ住所ヲ改メ名簿ニ貼付スヘシ
第二 被選人其區郡内ニ在テ轉居シ或ハ家族戸主
トナリ戸主家族或ハ同居附籍ト爲リ或ハ姓名ヲ改
ル等ニテ名刺上ニ異動ヲ生スルキハ其都度異動セ

ル部分ヲ改ムヘシ

第三 被選人死亡シ或ハ失踪シ或ハ他府縣ニ轉籍シ或ハ府縣會規則第十三條ニ掲クル各款ニ觸レ或ハ地租十圓以上ヲ納ル、能ハサルコ及フ(仍ホ選舉人タルヲ得ヘキ者ハ之ヲ選舉人名簿ニ移スヘシ)時ハ名簿ヲ除キ名刺ノ裏面ニ其事由ト年月日トヲ朱書シ別ニ之ヲ存置スヘシ

第四條 曩ニ他府縣ヨリ轉籍セテ其區郡ノ選舉人ト爲ルモ住居滿三年ニ及ハサルカ或ハ年齡廿五歳ニ滿タサルヲ以テ被選人タルヲ得サル者アルヘシ故ニ嗣後開會以前選舉人名簿ニ就キ其有無ヲ調査スヘシ

第五條 地租ヲ納ル、ノ額ハ其區郡ニ在テ已ニ十圓以上ヲ納ル、者ヲ除クノ外ハ一區一郡ニ於テ調査ヲ遂ク難シ故ニ每次會前主任書記ヲ府廳ニ出シ納租人名簿ヲ閱シ其適否ヲ調査セシムヘシ

選舉人名簿編製心得
第一條 選舉人名簿ハ各區郡役所ニ於テ之ヲ編製ス其式如左

名簿ハ豎壹尺五寸横壹尺濫引厚紙ノ豎帳ヲ用ヒ選舉人名刺ヲ伊呂波分ケニシ半面ニ四葉宛ヲ貼付ス

第二條 名簿ニ貼付スヘキ選舉人名刺ハ各區郡役所ニ於テ左ノ式ニ依リ之ヲ製シ本人ニ示シ記名調印

セシメ各區ハ主任書記各郡ハ戶長ヲノ役所ノ簿記
 〃就キ之ヲ照査シ抵觸スル所ナク且府縣會規則第
 十三條ノ第一款ニ觸レサルキハ主任書記或ハ戶長
 タシテ記名調印セシムヘシ
 名刺ノ式 本人家族或ハ附籍同居タル
 時ハ朱書ノ文字ヲ加フヘシ
 用紙程村紙八ツ切

某區某町何番地借地居住華士族
 某郡某村何番地借地平民何ノ誰何々
 借宅 姓 何年何月何日生
 東京府下ニ於テ一ヶ年地租五圓以上ヲ納ム
 懲役一年以上實決ノ刑ニ處セラレタルト無シ
 身代限ノ處分ヲ受負債ノ辨償ヲ終サル者ニ非ス

右之通相違無之候也

姓名實印

明治何年何月何日

右當役所現在ノ簿記ニ照シ抵觸スル所無シ且府
 縣會規則第十三條第一款ニ觸ル、者ニ無之候事

某區書記 姓 名 印
 町村戶長

明治何年何月何日

第三條 選舉人名簿ハ議員ノ欠員ヲ選舉シ及ヒ次後

選舉會ノ用ニ充ツルカ爲ニ其異動ニ隨ヒ加除ヲ爲

スヘシ其式如左

第一 甲區郡ノ被選人乙區郡ニ轉籍スルキハ甲區

郡ノ名簿ヲ除キ名刺ヲ乙區郡役所へ送達シ其役所ニ於テハ其名刺ノ住所ヲ改メ名簿ニ貼付スヘシ

第二 選舉人其區郡内ニ在テ轉居シ或ハ家族戸主トナリ戸主家族或ハ同居附籍ト爲リ或ハ姓名ヲ改ル等ニテ名刺上ニ異動ヲ生スルモ其都度異動セル部分ヲ改ムヘシ

第三 選舉人死亡シ或ハ失踪シ或ハ他府縣ニ轉籍シ或ハ府縣會規則第十三條ニ掲ケル各款ニ觸レ或ハ地面ニ其事由ト年月日トヲ朱書シ別ニ之ヲ存置スヘシ

第四條 新ニ他府縣ヨリ其區郡ニ轉籍スルカ或ハ年
齡廿歳ニ滿タサルカ故ニ選舉人タルヲ得サル者廿

歳ニ滿ツルカ或ハ地租五圓ニ滿タサルカ故ニ選舉人タルヲ得サル者五圓ニ滿ツルカ或ハ官吏教導職タル者其ノ官職ヲ辭スル歟或ハ義ニ身代限ノ處分ヲ受ケタル者已ニ負債ノ辨償ヲ終ヘタル(被選人ニ入ルヲ得ル者ハ其名簿ニ加フヘシ)等ニテ新ニ選舉人ニ加フヘキ者アルヘシ故ニ其都度調査スルヲ得ヘキ者ハ調査シテ名簿ヲ加除シ其都度調査スルヲ得ヘカラサル者ハ嗣後開會前之ヲ調査シ名簿ヲ加除スヘシ

第五條 地租ヲ納ル、ノ額ハ其區郡ニ在テ已ニ五圓以上ヲ納ル、者ヲ除ク外ハ一區一郡ニ於テ調査ヲ遂ケ難シ故ニ每次開會前主任書記ヲ府廳ニ出シ

納租人名簿ヲ閱シ其適否ヲ調査セシムヘシ

○地方税規則ノ民鑑附録卷ノ四へ掲グ

明治十一年七月二十二日
太政官第十九號布告

從前府縣税及民費ノ名ヲ以テ徵收セル府縣費ヲ改メ
更ニ地方税トシ規則左ノ通被定候條此旨布告候事

〔地方税規則ハ本朝民鑑附録卷ノ四千〇〇
四丁以下ニ列記スルヲ以テ此所ニ略ス

(參考)
明治十一年十二月廿日
太政官第三十九號布告

地方税中營業税雜種税ノ種類及ヒ制限左ノ通相定候
條此旨布告候事

第一條 營業税分ツテ三類トス其税額第一類ハ金拾

五圓以內トシ第二類ハ金拾圓以內トシ第三類ハ金

五圓以內トス其目左ノ如シ

但國税アルモノヲ除ク

第一類

諸會社及ヒ諸御賣商

第二類

諸仲買商

第三類

諸小賣商及ヒ雜商

第二條 雜種税ハ其種類ニ依リ各個ニ税額ヲ定ム其

目左ノ如シ

地方税規則

船明治七年第二十一號 車馬車 人力車 荷積中小車

荷積馬車 荷積大七

荷積牛車ノ類

國稅ノ半額以內

諸市場演劇其他諸興行并遊覽所 上リ高百分五以內

諸遊技場 玉突 大弓 揚弓 吹矢ノ類 壹个年金貳拾圓以內

料理屋 西洋料理屋 待合茶屋 遊船宿 芝居茶屋

人寄席 壹个年金貳拾圓以內

質屋 兩換屋 廻漕店 壹个年金拾五圓以內

古着古金古道具類 書齋骨董店共商 旅籠屋 諸飲食店 屋 鯉

鮮屋 蕎麥 壹个年金拾圓以內

湯屋 理髮床 雇人請宿 壹个年金五圓以內

遊藝師匠 遊藝稼人 相撲 壹个年金拾貳圓以內

俳優 壹个年金六拾圓以內

帶問 藝妓 壹个年金四拾貳圓以內

水車 壹个年金五圓以內

乘馬 自用渡 壹个年金壹頭ニ付金壹圓以內

屠牛 壹頭ニ付金五拾錢以內

第三條 漁業稅採藻稅ハ各地從來ノ慣例ニ依リ之ヲ

徵收スヘシ若シ其例規ヲ改正シ又ハ新法ヲ創設セ

ントスルモハ府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿へ稟

議スヘシ

第四條 府知事縣令ハ府縣會ノ決議ヲ以テ第一條第

二條類目中ニ於テ賦課スル者ヲ取捨スルヲ得

第五條 府知事縣令ハ其賦課スヘキ各業ノ盛衰ヲ視察シ府縣會ノ決議ヲ以テ稅額制限内ニ於テ各個ノ稅額ヲ査定スヘシ

第六條 一軒内ニ於テ數種ノ營業ヲ爲スモノ又ハ卸賣仲買小賣ヲ兼スルモノハ其稅額ノ最モ多キモノ壹個ノミヲ徵收スヘシ

第七條 凡ソ稅額ハ壹个年ヲ以テ其制限ヲ定ムト雖モ各地ノ便宜ニ依リ年額ニ準據シ日稅月稅トシテ之ヲ徵收スルコトヲ得

第八條 第四條第五條ニ於テ確定シタル課目課額ハ府知事縣令ヨリ內務大藏兩卿ニ報告スヘシ

(參考) 明治十一年十一月內務省乙

本年第十九號布告中左ノ條處分方必得ノ爲メ相違候事

第三條 第十二項戶長ニ附属スル用掛筆生手傳人等ヲ雇フキハ郡區長ノ許可ヲ得戶長ニ於テ申付可シ但給料等ハ府知事縣令適宜決定スヘシ

(參考) 明治十一年十一月十二日內務省

本年第十九號公布中左ノ條々處分方必得ソ爲メ相違候也

地方稅規則改正ニ先立テ郡區町村制及ヒ府縣會規則ニ着手スルキハ右實施ノ日ヨリ地方稅規則改正ニ至

ル迄ノ經費(郡區町村制府縣會ニ要スヘキ一切ノ費用
 ナ云フ)ハ地方税ノ規則ニ比附シ府縣税地價割戸數割
 等ヲ以テ支辨スヘシ
 従前府縣税賦金遣ヒ拂ヒノ都合ニヨリ前年徴收スル
 モスヲ以テ翌年ノ費用ニ充テ候様相成リ來リ候分ハ
 地方税規則改正ノ際豫算相立候節是迄ノ仕來リニ由
 リ昨年徴收スルモノヲ以テ今年ノ費用ニ組込ムコトヲ
 得ヘシ

地方税規則ハ本年度ノ中途ト雖モ改正施行スルヲ得
 ヘシ

(參考) 明治七十一年十一月廿八日內務省
 乙第七十九號ヲ以テ府縣ニ達

本年第十九號公布中左ノ條々處分心得方ノ爲メ相違
 候事

- 一 地方税ヲ不納スルモノ十年第七十九號公布ニ據リ
 財産公賣徴收スルモ猶不足スルハ其欠額ハ管内
 一般ノ損失トシ賦課スヘシ
- 一 地方税年度尾ニ至リ其一年度間ノ出納實費ニ就キ
 殘額アル時ハ之ヲ翌年度ニ繰越スヘシ若シ一年度
 間ノ出納實費ニ就キ不足ヲ生スルハ翌年度分ヲ
 以テ其欠ヲ補ヘシ

(參考) 明治八十一年十二月十三日內務省
 乙第八十四號ヲ以テ府縣ニ達

本年第十九號公布中左ノ條々處分方心得ノ爲メ相違

候事

一是迄府縣稅支拂爲換方へ府縣稅ヲ以テ給料支給シ
タル分地方稅施行ノ上モ同様取扱ハスヘキニ就テ
ハ右給料ハ地方稅費目第七項郡區役所ニ爲換方ヲ
置ク節モ本條ノ通ナルヘシ
但區郡役所爲換方ヲ置ク節モ本條ノ通リタルヘ

一地方稅費目中第十二項戶長以下給料云々戶長給料
ノ額ハ府知事縣令職務取扱諸費ハ府縣會ニ付シ其
多寡ヲ議定スルヲ得セシムヘシ

(參考) 明治十一年十二月十一日東京府乙
第四十六號ヲ以テ郡區役所へ達

地方稅ヲ不納スル者明治十年第七十九號公布ニ據リ
處分スヘキハ勿論ニ候得共財產ヲ公賣徵收シ猶不足
ヲ生スルハ其欠額ハ管内一般ノ損失トシ賦課スヘ
キ管ニ付其時々本廳へ可届出此旨相達候事

陸軍恩給令 民鑑附錄卷ノ
四及五へ掲ク

(參考) 明治十一年七月二十日陸軍省甲第十
六號ヲ以テ陸軍各局各管廳府縣へ達

昨明治十年鹿兒島賊徒征討ノ際戰地ニ於テ流行候左
ノ病名ハ陸軍恩給令第十三條第二款ニ准據シ可及處
分候條此旨相達候事

天然痘 虎列刺 窒扶斯 腸窒扶斯 間歇熱

陸軍恩給令

(參考) 明治十一年七月三十日陸軍省甲第十七號ヲ以陸軍各局各管廳府縣へ達

陸軍恩給令諸書式中別紙ノ通加除並ニ正誤候條此旨相達候事

恩給令諸書式加除並正誤

一 恩給令諸書式恩給願書第五式ノ欄外令第十四條ノ上ニ

(令第十三條)ノ文字ヲ加フ

一同第五式第六式第七式第八式ノ欄外第三式添書式ニ準シ添書ヲ作ルヘシ)ノ文字ヲ刪除ス

一同副書類第一式ノ欄外へ(令七十一條)係ル明細書

ハ各自ノ軍隊手帖或ハ私記ニ因リテ書載シ第何聯隊號記ノ文字ヲ除シヘシト朱書ニテ加フ

一同醫家診斷書類第一式第十式(診斷書)ヲ(診斷証書)ニ改ム

一同陸軍官憲証書類第三式ノ欄外陸軍官憲ナキトハノ次へ(何府何官何某印ノ文字ヲ加へ何府何大區何小區ノ肩ニ(府縣廳ハ數里ノ距離ニシテ官員出張差支ルキハ)ト朱書ニテ加フ

一同市井官憲証書類第一式ニ(令第七十三條)ハ(令第七十一條)ノ誤

一同進達書類第三式表面實期區畫中服役從軍七ヶ年ノ次へ(二十分増加)ヲ(増員乘率)ト改ム

(參考) 明治十一年八月五日內務省
乙第五十二號ヲ以府縣へ達

客歲西南ノ役警視局管理ニシテ九州地方へ出張戰地
ニ於テ死傷ノ者恩給扶助ノ儀兼テ未政官へ及上申候
處陸軍恩給令並ニ同附錄相當扶助等ニ照據可致旨今
般御指令相成候然ルニ戰死者遺族及ヒ項内傷痕ニシ
テ廢官免職ノ者目下生計困難ノ趣相聞へ候ニ付本令
ノ手順相立候迄別紙假條例ニ基ツキ該廳豫備金ヲ以
綠替遺族ハ當七月ヨリ傷者ハ其廢免ノ翌月ヨリ夫々
表面ノ内扶助料支給方可取計此旨相達候事

内扶助料假條例

第一條 西征ノ役戰死亡ノ者及ヒ傷痕四項以上ニシ
テ廢官免職等ニ係ル者陸軍官ヨリ兼任ノ者ハ甲號

表面ニ警部警部補巡查等ハ乙號表面ニ據リ死者ハ
其遺族(寡婦)月々月額ノ内扶助料ヲ支給シ傷者ハ

本人へ月々月額ノ十分八ノ内扶助料ヲ支給スヘシ

第二條 父母祖父母又ハ幼少ノ弟妹ノニ在テ之ヲ養

育スル者ハキハ前條ニ基ツキ月額十分八ノ内扶助

料ヲ支給スヘシ

第三條 凡此内扶助料ヲ受クヘキ者ハ別紙雛形ノ願

書ヲ以テ各自居住地又ハ寄留地ノ管廳へ出願シ該

管廳ニ於テ審接ノ後副書ヲナシ之レヲ警視局ニ移

シ照査ヲ經相當ノ取扱ヲ爲スヘシ

第四條 前各種ノ内扶助料ヲ受ル者恩給金下附ノト

キニ至レハ前ニ支給スル所ノ分ハ精算ヲ遂ケ返納

セシムヘシ

内扶助料願書雛形

出征別働第三旅團(新撰旅團)(何隊)
本陣付 第何大中小隊

何 官 某

右明治十年御西征ノ際從軍中何月何日某ノ戰地ニ於
戰死候段何年何月何日別紙ノ通御達(御口達)相成候就
テハ何分困窮仕候間何卒内扶助料被下置度尤恩給金
被成下候節ハ返納方如何様共御差圖通可仕候此段奉
願候也

何府縣何大區何小區何町何番地
居住(寄留)何族
平民

故何官何某寡婦(孤子)

何 某 (印)

年月日

同何族
平民

証人故某兄弟伯叔父從父兄弟等

何 某 (印)

年月日

書面ノ趣聊相違無之候也

何府縣何大區何小區

戶長 何 某 (印)

何府縣知事 何 某 殿

明治十年御西征ノ際出征別働第三旅團(新撰旅團)(何隊)

(本陣付何役)第何大隊何中隊何小隊何官(本部何役)ニテ

從軍中何月何日某ノ戰地ニ於テ(面部又ハ腹部又ハ何

陸軍恩給令

部(銃創(劔創)相受過般軍醫診斷ニ依リ第何項傷痕ニ
策定相成候通ニテ何分生計差支候間何卒内扶助料被
下置度尤恩給金被成下候節ハ返納方如何様共御差圖
通可仕候此段奉願候也

何府縣何大區何小區
何町何番地居住(寄留)平民
元何官

年月日

同何族

証人 何某

何某

(朱書) 以下前式ニ同シ

甲號

陸軍武官ヨリ兼任警視以下傷痍者并寡婦孤兒扶助料

官名	傷項	一 項	額 月	内扶助料 月額十分	二 項	額 月	内扶助料 月額十分	三 項	額 月	内扶助料 月額十分	四 項	額 月	内扶助料 月額十分
少 佐	一 項	六百圓五十圓	四十一圓	四十一圓	四百一十圓	三十三圓	三十三圓	二百五十圓	二十圓	二十五圓	二百五十圓	二十圓	二十五圓
大 尉	一 項	四百四十圓	三十一圓	三十一圓	三百一十圓	二十圓	二十圓	二百八十圓	二十圓	二十圓	二百八十圓	二十圓	二十圓
中 尉	一 項	三百二十圓	二十一圓	二十一圓	二百一十圓	十三圓	十三圓	二百圓	十圓	十圓	二百圓	十圓	十圓
少 尉	一 項	二百五十圓	十七圓	十七圓	一百七十圓	十圓	十圓	一百六十圓	十圓	十圓	一百六十圓	十圓	十圓
少尉試補	一 項	二百〇五圓	十三圓	十三圓	一百七十圓	十圓	十圓	一百六十圓	十圓	十圓	一百六十圓	十圓	十圓
曹 長	一 項	百〇三圓	八圓	八圓	七十圓	五圓	五圓	六十圓	五圓	五圓	六十圓	五圓	五圓
軍 曹	一 項	九十六圓	八圓	八圓	七十圓	五圓	五圓	六十圓	五圓	五圓	六十圓	五圓	五圓
伍 長	一 項	七十九圓	六圓	六圓	六十圓	四圓	四圓	五十圓	四圓	四圓	五十圓	四圓	四圓
諸 卒	一 項	七十二圓	六圓	六圓	六十圓	四圓	四圓	五十圓	四圓	四圓	五十圓	四圓	四圓

警視局警部以下戦役死傷者内扶助料

職名	相當	月額	内扶助料	月額	内扶助料	月額	内扶助料	月額	内扶助料	内扶助料	内扶助料
大隊長ノ職務ヲ心得タル者	大尉	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓
中隊長ノ職務ヲ心得タル者	中尉	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓
小隊長以下士官ノ職務ヲ心得タル者	少尉	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓
曹長ノ職務ヲ心得タル者	曹長	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓
軍曹ノ職務ヲ心得タル者	軍曹	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓
伍長ノ職務ヲ心得タル者	伍長	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓
兵ノ職務ヲ心得タル者	兵	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓	二百四十圓

(参考) 明治十一年九月十六日内務省
乙第六十號ヲ以テ府縣へ達

本年八月乙第五十二號ヲ以テ警視局管理ニシテ戰地ニ於テ死傷之者内扶助料之儀相達候處甲號表面大尉第一項欄内之金額ハ誤ニ付取消候條乙號表面大尉第一項欄内之金額同様之儀ト可心得此旨更ニ相達候事

(参考) 明治二十一年七月十一日東京府乙
第二十二號ヲ以テ區務所へ達

戰役死傷者扶助料概則別冊ノ通祇定候旨其筋ヨリ達有之候ニ付テハ右相當ノ者有之候ハ、無遺漏取調至

陸軍恩給令

急當廳へ出頭可爲致此旨相達候事

戰役死傷者恩給令附錄相當扶助料概則

第一條 陸軍恩給令附錄第一條ニ掲載スル戰死或ハ公務ニ因リ死亡スル者父母或ハ幼女ノ弟妹ノミ在テ之ヲ養育スル親戚モナク飢渴ニ及フヘキ者ハ其次第柄ニ因リ臨時ノ詮議ヲ以テ相當ノ扶助料ヲ給スヘキ者ノ節目及支給金額ノ等差ヲ定メ其當否ヲ審査シ扶助料ヲ給スルモノトス

第二條 臨時ノ詮議ヲ以テ扶助料ヲ給スヘキ遺族ヲ願テ左ノ三トス

其一 祖父母

陸軍恩給令附錄相當扶助料表

官等	戰地或ハ公務ニ因テ死亡スル寡婦孤子ノ年額		甲賜金高	乙賜金
	平	高		
四等	金四百圓	金三百廿九圓三十三錢三	金三百圓	金二百四十圓
五等	金三百三十八圓	金三百四十二圓六十六錢六	金二百五十圓	金二百圓
六等	金二百五十圓	右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
七等	金百八十七圓	右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
八等	金百三十四圓	右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
九等	金百〇七圓	右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
十等	金八十六圓	右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
十一等	金四十圓	右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
十二等	金三十七圓	右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
十三等	金三十一圓	右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
十四等		右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
十五等		右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
十六等		右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
十七等		右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
諸卒	金二十八圓	右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓
等外吏		右ニ準ス	金二百圓	金百六十圓

備考 表中甲ノ金額ヲ賜ル者一家アルキハ乙ノ金額ヲ賜ラス又一家ノ内寡婦孤子ニ扶助ヲ受クル者アレハ表面ノ金額ハ總テ賜ラス

陸軍恩給令附録相當扶助料表

官等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等	十三等	十四等	十五等	十六等	十七等	諸卒	等外吏	備考
戦地或ハ公務ニ因テ死亡スル寡婦孤子ノ年額	金四百圓	金三百三十八圓	金二百五十圓	金百八十七圓	金百三十四圓	金百〇七圓	金八十六圓	金四十圓	金三十七圓	金三十一圓					金二十八圓		表中甲ノ金額ヲ賜ル者一家アルキハ乙ノ金額ヲ賜ラス又一家ノ内寡婦孤子ニ扶助ヲ受クル者アレハ表面ノ金額ハ總テ賜ラス
平均高		金三百廿九圓三十三錢三		金百四十二圓六十六錢六		右ニ準ス		金三十六圓						右ニ準ス			
甲賜金高		金三百圓		金二百五十圓		金二百圓			金百五十圓								
乙賜金高		金二百四十圓		金二百圓		金百六十圓			金百二十圓								

其二 幼少ノ弟妹 弟妹ノ内一人存スルモ同シ何レ
其三 兄弟姉妹二十歳以上ナルモ廢人ニ屬シ夫妻

ナキ者

右ニ掲ケルハ其死没スル軍人戸主若クハ戸主ニナ
クトモ當該人ノ爲ニ養育ヲ受ケタル者ニシテ自活
スルコト能ハス一家之ヲ養フ者ナク親戚ノ之ヲ助ケ
ル者ナク飢渴ニ及フヘキ者ニ限リ給スヘシ

第三條 徵兵ノ内常備兵卒ニ在テハ徵兵令ノ法ヲ以
テ召募シタルニ因リ一家生活ニ支障ナキ理由アレ
ハ本令ノ外一切扶助料ヲ給セスト雖モ其第一第二
後備兵卒ハ總テ此概則ニ準スヘシ

第四條 第二條第一第二第三項揭示スル扶助料ノ等

級金額ハ表面ノ通其死者ノ官階ニ應シ一時限リ第一項ハ甲ノ金額ヲ給シ第二第三項ハ乙ノ金額ヲ以テ之ヲ給ス其支給順序ハ本令ニ準シ陸軍省ヨリ上奏シ内務省ヨリ府縣廳ヲ經テ之ヲ下附スル者トス

第五條 恩給令附錄第二條ニ掲載スル軍屬ノ戰地或ハ出征中公務ニ因リ死傷スル者ハ本令ニ據リ恩給扶助ヲ賜ルヘシ其文官四等ヨリ七等迄ハ本令扶助料表等級七等ニ八等ヨリ十等迄ハ同十等ニ十一等ヨリ十七等迄ハ同十三等ニ等外吏ハ諸卒ニ當テ之ヲ給ス尤死者寡婦孤子ナキ者ハ此概則ニ據リ詮議ニ及フヘキ者トス

(參考)

乙明治十一年八月廿一日東京府區務所へ達

客歲西南之役警視局管理ニシテ九州地方へ出張戰地ニ於テ死傷之者陸軍恩給令并附錄ニ相當扶助可相成等ニ候處目下戰死者遺族及ヒ項内傷痕等ニシテ廢官免職之者生計困難之趣ニ相聞候ニ付本令之手續相立候迄別紙假條例ニ基キ遺族ハ當七月ヨリ傷者ハ其廢免ノ翌月ヨリ夫々扶助可致旨其筋ヨリ達相成候條右ニ相當之者ハ別紙願書式ニ照準早々當廳へ出願候様區内無洩可及告示此旨相達候事

但寄留之者ハ願書三通可爲差出事

内扶助料假條例

第一條 西征ノ役出戰死亡ノ者及ヒ傷痕四項以上ニ

陸軍恩給令

シテ廢官免職等ニ係ル者陸軍官ヨリ兼任ノ者ハ甲號表面ニ警部警部補巡查等ハ乙號表面ニ據リ死者ハ其遺族へ(寡婦)月々月額ノ内扶助料ヲ支給シ傷者ハ本人へ月々月額十分八ノ内扶助料ヲ支給スヘシ

第二條 父母祖父母又ハ幼少ノ弟妹ノニ在テ之ヲ養育スル者ナキハ前條ニ基ツキ月額十分八ノ内扶助料ヲ支給スヘシ

第三條 凡此内扶助料ヲ受クヘキ者ハ別紙離形ノ願書ヲ以テ各自居住地又ハ寄留地ノ管廳へ出願シ該管廳ニ於テ審按ノ後副書ヲ爲シ之ヲ警視局ニ移シ照査ヲ經相當ノ取扱ヲ爲スヘシ

第四條 前各種ノ内扶助料ヲ受ル者恩給金下附ノキ

ニ至レハ前ニ支給スル所ノ分ハ精算ヲ遂ケ返納セシムヘシ

内扶助料願書離形

出征別働第三旅團(新撰旅團)(何隊)

本陣付 何大中小隊

何 官 某

右明治拾年御西征ノ際從軍中何月何日某ノ戰地ニ於テ戰死候段何年何月何日別紙ノ通御達(御口達)相成候就テハ何分困窮仕候間何卒内扶助料被下置度尤恩給金被成下候節ハ返納方如何様共御指圖通可仕候此段奉願候也

何府縣何大區何小區何町何番地

居住(寄留)何族
平民
故何官何某寡婦(孤子)

年月日

同何族
平民

何某 (印)

証入 故何某兄弟伯叔父從父兄弟等

年月日

何某 (印)

書面之通聊相違無之候也

何府縣何大區何小區

戶長 何某 (印)

何府知事 何某殿

私儀

明治十年御西征之際出征別働第三旅團(新撰旅團)(何

隊(本陣付何役)第何大隊何中隊何小隊何官(本部付何役)
ニテ從軍中何月何日某ノ戰地ニ於テ(面部又ハ腹部又
ハ何部)ニ銃創(劔創)相受過般軍醫診斷ニ依リ第何項傷
痕ニ策定相成候通ニテ何分生計差支候間何卒内扶助
料被下置度尤恩給金被成下候節ハ返納方如何様共御
指圖通可仕候此段奉願候也

何府縣何大區何小區何町何番地居住

(寄留)何族
平民

元何官

何某 (印)

年月日

同何族
平民
証人 願人親戚縁類ノ内

何某

印

(朱書) 以下前式ニ同

(參考) 明治十一年十一月十一日東京府乙第三十六號ヲ以テ區郡役所へ達

明治九年十月第九十九號公達陸軍恩給令中左ノ通改正并該附録へ第六條ヲ追加相成候條爲心得此旨相達候事

恩給令中改正

- 一 恩給令第四條第一款(管刑或ハ)ノ文字ヲ刪除ス
- 一 同第十四條末款一个年已前ニ嫁シタル者タルヘシノ次(但戰死或ハ傷疾ノ原因ニ由テ死傷前ニ婚配セシモノ)ト加フ

- 一 同第十八條凡ソ養子ハノ次(其軍人生前ノ養子ニテ)ノ文字ヲ加ヘ若シノ次(其軍人生前ニ)ノ文字ヲ刪除ス

- 一 同第三十六條(教導團生徒)及ヒ(下士)ノ文字ヲ刪除ス
- 一 同第三十七條(其他)ノ上(教導團生徒ハ其入團ノ日ヨリ)ノ十三字ヲ加フ

- 一 同第四十一條六個月ノ次(十五日)及ヒ末文(例へハ云々以下)ノ四十字ヲ刪除ス

- 一 同第五十四條檢査口供ヲ作ルヘシノ次(但初メノ陸軍病院長ノ証書ナレハ此口供書ヲ作ルニ)ト加フ
- 一 同第五十五條第六十六條(診斷証書)ニ改ム
- 一 同第五十六條末款口供書ヲ作リノ次(但初メノ陸軍

陸軍恩給令

- 一 病院長ノ証書ナレハ此口供書ヲ作ルト加フ
- 一 同第七十條後見人一名ノ次(又ハ)ヲ(及ヒ)ニ改ム
- 一 同第七十一條(婚姻届書)ヲ(婚姻證書)ニ改メ(若シ云々以下)ノ四十字ヲ刪除ス
- 一 同第七十二條服役明細証書ノ次(婚姻証書)ノ文字ヲ加フ
- 一 同第八十一條凡ソ恩給ノ次(扶助料)ノ文字ヲ刪除ス
- 一 恩給并扶助料表面罷役恤金ノ區畫中公務中ノ上(疾病若シハ)ノ文字ヲ加フ

恩給令附錄追加

第六條 停年或ハ傷痍疾病ニ因リ恩給ヲ受ケタル者爾後再ヒ軍役ニ復シ又ハ文官ノ職ニ就クハ

其時日間其恩給ヲ停止スヘシ依テ就職ノ者ハ拜命ノ都度其本籍ノ管轄廳ニ届出管轄廳ハ之ヲ内務省へ届出可シ

但明治八年月第四十八號達武官傷痍扶助料概則ニ從ヒ終身扶助料ヲ受ケタル者又ハ明治二年ヨリ八年ニ至ル迄一等傷痍甲症ニ因リ終身一人半口二等傷痍乙症ニ因リ一口給與ノモノモ總テ本條ニ照シ處分スヘシ

(參考) 明治十一年八月五日東京府ヨリ區務所へ達

陸軍恩給令諸書式中別冊ノ通加除並正誤候旨同省ヨリ達越候條此旨相達候事

陸軍恩給令

別冊

- 一 恩給令諸書式加除並正誤
- 一 恩給令諸書式恩給願書第五式ノ欄外令第十四條ノ上ニ(令第十三條)ノ文字ヲ加フ
- 一 同第五式第六式第七式第八式ノ欄外(第三式添書式ニ準シ添書ヲ作ルヘシ)ノ文字ヲ刪除ス
- 一 同副書類第一式ノ欄外(令第七十一條)係ル明細書ハ各自ノ軍隊手帖或ハ私記ニ因リ書載シ第何聯隊號記ノ文字ヲ除クヘント朱書ニテ加フ
- 一 同醫家診斷書類第一式第十二(診斷書)ヲ(診斷證書)ニ改ム
- 一 同陸軍官憲証書類第三式ノ欄外陸軍官憲ナキ時ハ

- ノ次(何縣何官何某(印)ノ文字ヲ加ヘ何縣何大區何小區ノ肩ニ(府縣ハ數里ノ距離ニシテ官員出張差支ルルハ)ト朱書ニテ加フ
- 一 同市井官憲証書類第一式ニ(令第七十三條)ハ(令第七十一條)ノ誤
- 一 進達書類第三式裏面實期區畫中服役從軍七ヶ年ノ次ノ(二十分増加)ヲ(増員乘率)ト改ム

○外國人遊步期定

明治三年閏十月十日
太政官布告

東京在留外國人遊步期程別紙ノ通ニ候條此旨相達候

外國人遊步期定

事

別紙

東京居留外國人遊歩ノ期程別紙圖面ノ通新利根川
 又江戸川口ヨリ北ノ方金町迄夫ヨリ西ノ方水戸街
 トモ云 道千住宿大橋迄夫ヨリ隅田川ヲ登リ古谷上郷迄夫
 ヨリ小室村高倉村小矢田村萩原村宮寺村三木村田
 中村諸村ヨリ朱引ノ通日野ノ渡場迄夫ヨリ玉川口
 迄ヲ以テ限リトシ右區内ハ外國人共遊歩御差許ノ
 儀ニ付勝手ニ徘徊イタヌヘク就テハ彼我禮義モ異
 ナリ殊ニ彼方貴人モ手輕ニ旅行致シ候振合ニテ在
 々ノ人民未タ外國人ノ情態ヲモ熟知セサル故接對
 方ニ於テ不都合ノ筋ハ勿論不作法等有之候テハ不

相濟儀ニ付未々迄相互ニ心附兼テ御布令ノ趣心得
 違無之様可致事

外國人遊歩ノ節若途中ニチイテ休息又ハ薄暮ニ
 オヨヒ止宿等相望候ハ、所役人方へ案内イタシ
 差支無之場所ニ候ハ、望通取計可遣旅籠代ノ儀
 ハ相對テ以請取可中事

一外國人出先ニオイテ差掛リ人足履度旨申出候ハ、
 相當ノ賃錢請取身元相分リ居候モノ差出候様可致
 事

一外國人共門塀等アル場所ハ勿論招キニアラヌシテ
 人家へ猥リニ不立入筈ニ候へ共若シ庭構園池等一
 見イタシ度旨申聞候ハ、立入不苦場所へハ案内致

外國人遊歩期定

スヘク差支ノ場所ハ相斷可申事

一社寺ハ庶人立入拜禮致候場所迄立入候儀ハ不苦靈秘ニイタシ庶人猥リニ不爲立入場所其奈廟所墳墓又ハ境内ニ切ノ場所ハ相斷可申尤彼方懇望ニテ其主司ニオイテモ強テ差支無之候ハ、臨機ノ取計ヲ以差許候トモ不苦事

一東京開市場ノ外諸村ニタイテハ外國人ト商賣取引不相成筋ニ候ハ、共通行ノ節聊ノ土産物等買得ノ儀相望候ハ、賣渡候テ不苦萬一拔荷密商等ノ所業ニ及ヒ候ハ、屹度咎可申付候條若拔荷密商等見出シ候カ又ハ企候者有之ヲ承リ込候ハ、速ニ東京府又其支配ノ役所へ可訴出其品ニヨリ御褒美可被下事

一宗門ノ儀前々ヨリノ御法度相守彌以堅ク可相制若曷宗門ノ噂イタシ又ハ申勸候モノ等有之候ハ、其段早速其支配ノ役所へ可訴出事

一阿片煙草吹喫致候儀ハ嚴禁ニ付萬一竊ニ相用候カ又ハ所持イタシ候カ或ハ外國人ヨリ密ニ買取候モノ及見聞候ハ、前同様可訴出事

一外國人ニ對シ亂暴狼籍ニ及ヒ候テハ禮義ヲ失ヒ候耻辱ノミナラス第一御威光ニモ相拘リ以ノ外ノ一ニ付兼テ御布令ニ有之今後右様心得違ノ者ハ無之等ニ候ハ共町村ニオイテモ兼テ手筈申合セ置萬一狼籍ニ及候者有之節ハ所ノモノ打寄擲取若シ手ニ余リ候ハ、打果シ候トモ不苦候若シ取逃シ候ハ、

地元町村ヨリ時刻ヲ不移其支配ノ役所並東京府へ
口上ヲ以テ成トモ手分ケ致シ迅速ニ可届出候共余
詮議ノ手掛リニ可相成儀等及見聞候ハ、聊ノトコ
ヲモ不隠置是又早々可申出共品ニ寄夫々御褒美可
被下事

附亂妨ヲ受候外國人ノ國名姓名等相分リ候丈ケ
承札ニ可申立且當人ハ手當行届候丈ケ介抱致シ
精々心附可遣萬一絶命ニ及候ハ、大切ニ守護イ
タシ差圖可相待事
右ノ條々急度可相守若シ後日ノ引合チ遁ソカメ及
見聞候儀ヲ押隠シ追テ相顯ル、ニ於テハ當人ハ勿論
所役人迄モ夫々嚴重咎可申付候條心得違無之様可致

自今以後毎年一度ツ、其所役人ヨリ前書ノ趣小前ノ
モノニ爲讀聞無遺失様可相守モノ也

(参考) 明治八年十一月二日太政官
第百八十號ヲ以使府縣へ達

外國人遊歩規程内ニ於テ旅籠渡世ノ者ニ限リ外國人
止宿差許候條外國人止宿セシメ候節ハ宿主ヨリ戸長
又ハ扱所へ可届出若シ病氣療養ノタメ長ク止宿セシ
メ候節ハ日數七日毎ニ管轄廳へ届出候様可致此旨相
達候事

(参考) 明治十一年九月九日太政官第四十號ヲ以
テ外國人遊歩規程内ニ係ル使府縣へ達

明治八年十一月第百八十九號ヲ以テ外國人遊歩規程

外國人遊歩期定

内止宿ノ儀ニ付相違置候處自今旅籠渡世ノ者コアラ
スト雖ニ懇親ノ外國人ヲ招泊セシメ又ハ疾病其他止
ヲ得サル事故アリテ宿泊セシムルハ苦シカラス尤戸
長又ハ扱所へ届クルハ前達ノ通り可相心得此旨相違
候事

(參考) 明治八年八月三十日太政官第
百五十五號ヲ以テ使府縣へ達

外國人遊歩規程内ニ於テ其徘徊自由タルヘキ儀條約
差許有之候處本月十五日神奈川縣下八王子詰合警保
掛ニテ米國軍艦長ルキス同國裁判官リチャルドソン
ヲ拘引シ又同月同日英國人ヲ同所ニ於テ拘止シ粗忽
ノ取扱等ヲ爲シ候始末全ク該地方警保掛兼テ達面ノ

趣ヲ不心得ヨリ如斯不都合ヲ生シ候儀ニ付右官員ハ
免職ノ處分ニ及ヒ候ヘトモ向後該職ノ者右様心得違
無之様尙又可達置此旨相違候事

(參考) 明治三年十月十七日太
政官ヨリ使府縣へ達

外國公使等旅行并工部省官員外國人同行ノ節取
扱方ノ事

外國公使旅行ノ節城下又ハ陣屋餘へ休泊致候ハ、官
員一八平服ニテ旅館へ相越シ知事ノ口上ヲ以尋問可
致事

但公使ニ無之候ハ、不及其儀事

旅館へ幕臺提燈盛砂等總テ馳走ケ間敷儀ニ不及候事

外國人遊歩期定

外國官人通行ノ節其宿驛ニ於テ問屋役人ノ内出迎案内可致地方官廳ヨリ送迎ノ役員等不及差出候事
 外國人通行ノ節往來見物致シ候儀ハ不苦候ニ共彼方ニテハ高官ノ者手輕ニ旅行イタシ且彼我ノ禮義モカハリ候儀ニ付在々人民ニ於テハ殊更外國人ノ情態ヲモ熟知セサル故不作法等ノ儀有之候テハ不相濟儀ニ付地方官ニテ屹度取締可致事
 外國人ニ對シ萬一不禮イタシ候モ有之カ或ハ不都合ノ儀有之節ハ取締出張ノ官員又ハ宿驛役人トモ附添官員ニ申談嚴重始末相付ケ其段書狀ヲ以外務省又ハ開港場最寄ニ候ハ其開港場ニ可届出事
 旅籠料並人足賃錢共相對ヲ以仕拂候筈ニ候條外務省

又ハ開港場ノ縣廳ヨリノ先觸面通相心得夫々不都合無之様取計可申尤休泊ノ場所ハ宿驛役人共取締筋精々必付夜中ハ別テ入念見廻リ可申事
 外國人旅行先ニ於テ土産物等買入候儀ハ不苦候得共萬一密商ケ間敷事柄有之候ハ見聞次第御國人ノ儀ハ其應ニ於テ始末柄相糺シ外務省又ハ最寄開港場ニ可相届事

但外國人ノ儀ハ外務省並開港場ニ於テ取糺可致事

(參考) 明治四年三月四日太政官ヨリ長崎縣ニ御沙汰

英國軍艦不日香港ヨリ共港ニ來航候趣ニ付碇泊中乘組兵卒運動遊歩ノ爲上陸被差許度旨別紙ノ通英國公

外國人遊步期定

使_レ申出御聞届相成候間各國軍艦ノ振合ニ准_レ不都合無之様取計可致事(別紙)

(參考)

明治七年八月十日內務省
乙第五十號ヲ以府縣ニ達

各國人ノ内學術研究或病氣養生等ノ爲メ内地旅行ノ儀其公使或ハ領事ヨリ申立候節ハ差許其節々爲心得沿道府縣ニ相達來候處已來各國人ノ内身分等級有之者ニ限リ是迄ノ通可相達候ニ共公私雇入又ハ平民等ノ分ハ其度々達ニ不及勿論通行免狀外務省ヨリ相渡所持_レ答ニ付右ヲ以証認無差支通行可爲致此旨兼テ相達置候事

(參考)

明治八年七月十八日內務省丙第四十四號達

本月三日相達候外國人内地旅行願出候節相渡候免狀裏書示令ノ文字ヲ心得_レ相改候且省使雇入外國人右同斷_レ節相渡候免狀別紙_レ通改正候條此旨爲心得相達候事

別紙

第 號

外國人旅行免狀

國籍

姓名

身分

寄留地名

外國人遊步期定

旅行趣意

旅行先及ヒ路筋

旅行期限

右者 保証ヲ以前書掲載ノ場所へ旅行致

度旨申立差許候條道筋無故障相通シ可申事

明治年月日

外務省

裏書

内地旅行外國人心得

一内地旅行ハ外國人ハ總テ各地方ノ規則ニ遵

依スヘシ

一此ノ免狀ノ日附ヨリ三十日間ニ必テ出立スヘシ

一

一本文旅行日限ヲ定ムルト雖途中事故アリテ期限

中ニ歸着スル能ハサル外國人ハ豫メ郵便ヲ以其

國公使ヲ經テ其事故ヲ外務省ニ申立ツヘシ

一此免狀返納期限ハ歸着ノ日ヨリ五日以内タルヘ

シ尤長崎函館等ノ遠方ヨリ出立シテ元地ニ歸着

スル外國人ハ其國公使ヲ經テ外務省ニ三十日以

内ニ遞送スヘシ

一旅行中止宿所ニ於テ必ス其宿主ニ此免狀ヲ示シ

止宿ヲ請フヘシ尤途中ト雖遇卒又ハ區戶長ヨリ

免狀ノ檢査ヲ請フキハ必ス此免狀ヲ示スヘシ如

何ナル事故ヲ以辭柄トナストモ之ヲ示サハル外

國人ハ差押ノ處分ヲ受クヘシ

- 一 此免狀一人一己ノ用ヲシテ他人へ貸與フルヲ
- 一 此免狀ヲ受テ内地ヲ旅行スル外國人ニ雖各地方
- 一 此免狀ニヨツテ旅行スル外國人内地ニテ日本人
- 一 民ノ屋宅ヲ賃借シ又ハ寄留スルヲ許サス
- 一 遊獵ノ免許鑑札ヲ所持スル外國人ト雖内地ニ入
- 一 旅行中事故アリテ半途ヨリ歸着シ猶行盡サ、ル
- 一 殘リノ場所へ旅行セント欲スル外國人ハ假令許
- 一 可モ、場所ト雖一旦此免狀返納致シ更ニ旅行ノ

諸可ヲ受クヘシ

一 本文并ニ此示令中掲載セル條例ヲ犯セタル外國人ハ外務省ヨリ一々其保証シタル公使へ告訴ス

計十一款

(參考) 明治八年十二月五日內務省乙第百五十九號達

外國人ノ内身分等級等有之者内地旅行ノ節ハ其都度相違來候處自今別段ノ取扱ヲ要セサルモノハ一々不相違候條免狀ニ記載有之身分ヲ証認シ不都合無之様可取計旨管下其向々へ相違置可申此旨相違候事

(參考) 明治八年十二月七日內務省乙第百六十號達

官民雇入外國人職務上ニ付各地へ出張外國人ヲ從者ニ召連候節是迄主從一紙ノ免狀相渡來候處自今時宜ニ依リ別紙體裁ノ免狀從者へ相渡候儀モ有之候條此旨爲心得相達候事 (別紙零之)

(參考) 明治九年十二月廿六日內務省甲第四十四號達

本年十二月第百五十四號ヲ以テ西洋形船水先規則公布相成候ニ付テハ其免狀ヲ所持スル外國人ハ同規則第十二條ニ憑據シ執業上ニ限リ沿海何レノ地ト雖モ上陸シ且其出發地へ歸還候節ハ内地旅行免狀所ヲ持セヌシテ通行被差許候儀ニ候條此旨爲心得布達候事

(參考) 明治九年九月五日內務省丙第四十七號ヲ以達

- 京都府 大坂府 堺縣
- 滋賀縣 靜岡縣 長野縣
- 椽木縣 埼玉縣 群馬縣
- 神奈川縣 三重縣 山梨縣
- 愛知縣

佛國法教師エーミールギメ氏及ヒ畫工レガメ氏今般同國文部卿ノ命ヲ受我國佛教ノ景況見聞ノ爲メ有名ノ佛園巡覽可致ニ付日光及淺間山夫ヨリ中山道通り歸京更ニ東海道通り富士山及其近傍ヲ巡リ伊勢奈良琵琶湖ヨリ京都ヲ經歷シ大坂マテ旅行ノ儀同國公使ヨリ申出候條右沿道ニアル寺院佛閣等へ相越法教ノ

質問及寺觀ノ摸樣等摹寫ノ儀申立候節ハ無不都合様
可取計旨兼テ其筋ハ相達可申此旨相達候事

(參考)

明治九年十二月二十一日
日內務省丙第六十號達

大坂府

神奈川縣

兵庫縣

長崎縣

新潟縣

清國江南官備瀛艦海安號御國遊歷致度旨艦隊長ヨリ
申立候ニ付總理衙門ヨリ在北京森全權公使へ申啓候
旨同公使ヨリ申越候條同艦廻航ノ節ハ不都合無之様
可取計此旨相達候事

○行旅ノ輩病氣ノ節取扱規則

明治四年六月十七日
太政官御布告

行旅ノ輩病氣等ノ節取扱方ノ儀追テ御規則被
迄從前ノ仕來ニ基キ別紙ノ通被相定候條此旨可相心得
事

規則

- 一 旅人并旅稼ノ者若病氣等ニテ進退難相成候ハ、所役
人申談其所ニ止宿セシメ醫療手當差加鑑札見改其筋
ハ相届且其者在所等ヘノ文通其他相當ノ用辨ハ取計
可遣勿論路用ノ有無ヲ以テ不實ノ扱方致問敷事
- 一 病人若路用ノ貯無之其在所等ヘ送届方相頼候ハ、人

行旅ノ輩病氣ノ節取扱規則

體病狀并道程ノ遠近等見計聞届尤書付爲差出其地方官廳ノ添狀ヲ受宿村送り以テ可達遣萬一送届候上其村町ノ者ニ無之偽リノ所業有之候ハ、不取通様手當致其筋へ可申立事

一病人死去致シ候ハ、其筋へ申立死骸見分ノ上最寄寺院ニ假理致シ立合候者共連印証書ヲ以テ其村所へ及掛合理葬ノ始末追テ可相届候事

但道心者ノ類其死去ノ處ニ葬具候様願狀所持致シ候ハ、埋葬ノ上其筋へ相届ケ其村町へモ可申達又倒死人鑑札所持ノ者ハ本文ノ通取計鑑札無之者ハ本文ニ準シ取計三十日ノ間往還筋へ建札致シ申出ノ者無之候ハ、埋葬致シ同様可相届事

一右宿村送りニ致シ候者人足賃其外諸雜費繰替方等ノ儀ハ都テ脱籍ノ者府藩縣送規則第五條ニ準シ可取計候若シ本人又ハ親類ニテ償ヒ難キ分ハ其村町ヨリ爲差出可申尤モ可成丈ケ雜費不相嵩様取計其余ハ品ニ寄リ宿村限リ割合ニ可致若シ又其宿村心入チ以テ最初ヨリ償等不相望其所入用ニテ取賄候儀ハ素ヨリ不苦候事

一病人鑑札所持不致候ハ、其子細和糺シ脱籍ノ者ハ快氣次第當四月被 仰出候規則ノ通り府藩縣送りチ以テ其本貫へ可引渡等ニ付其筋へ申立都テ差圖ヲ受可取計事

(改正) 明治十一年十二月廿五日太政官

明治四年六月達行旅病人取扱規則第二條中地方官廳
ヲ戶長役場ト改正候條此旨相達候事

(参考) 明治十一年十二月廿八日東京府

明治四年六月公達行旅病人取扱規則第二條地方官廳
ヲ戶長役場ト改正相成候條此旨相達候事

○官有財產價格取調心得

明治十一年九月十四日大藏省
乙第四十五號ヲ以テ府縣ニ達
官有財產之價格取調ニ備ヘ付今般第三十九號ヲ以テ公

達相成候條此旨相達候事
明治十一年六月三十日

○官有財產價格

何 縣府

一 官有地及諸建物共
此價格若干圓
但本廳ニ何所出張所何所警察所
何所檻獄何々
諸營築等ノ未竣成ニテ其價格ヲ
積算シ能ハサルモノ及ヒ官廳日用ノ器具
卓子等 其他消耗品ノ類ハ除算スヘシ
一 右之通有之候也

官有財產價格取調心得

一 年 號 月

大藏卿宛

長官姓名印

八七六

(參考)

明治十一年九月五日太政官第三十九號

今般官有財產價格取調候ニ付官有地及ヒ艦船器械等本年六月三十日ノ現狀ヲ以テ積算シ來ル十月三十一日迄ニ大藏省ヘ可差出此旨相達候事
但委細ノ儀ハ大藏省ヨリ可相達事

○計算簿記條例

明治五十一年十一月八日大藏省

今般第四十二號ヲ以テ公達相成候金錢出納簿記ノ儀別冊簿記條例及模本ニ照準調整可致此旨相達候事

計算簿記條例

- 第一條 各廳金錢ノ出納計算ハ總テ複記法ニ據テ帳簿ニ記入スヘシ
- 第二條 複記法ニ據テ金錢ノ出納ヲ右左ニ大別シ貸借ノ文字ヲ掲ケ以テ對比記入スルノ式トス
- 第三條 帳簿ニ記入スル所ノ金員ニ係ル文字ハ總テ亞刺比亞數字ヲ用ユヘシ
- 第四條 帳簿ニ金員ヲ記入スル必ス事務章程府縣官職制并處務順序ニ於テ其權限ヲ定ムル所ノ長官局長課長或ハ臨時其事ヲ擔任セザル主任者ノ印章ヲ

計算簿記條例

八七七

其信憑證據上爲大體決議報告等之書類ヲ得ルニ非

ズレバ之ヲ記入スルカラス

第五條 帳簿ニ金員ヲ書損スルモ漫ニ削除塗抹ヲ許サ

ズ又之脱落アルハ恣ニ補綴糊貼ヲ許サス必ス書損脱

落タル所ノ正中ニ二線ヲ横畫シテ之ヲ消抹シ正字ヲ

其上ヲ記入スルヲ以テ一般正誤ノ法トス

第六條 帳簿ニ金員ヲ記入スルノ後ヲ決議報告等ノ書

類ニ於テ誤謬アリシヲ發見スルモ輒ク記入ノ金員ヲ

訂正スルヲ許サス必ス各主任ヨリ其事面ヲ分疏証明

スルヲ待テ然後テ正誤ニ着手スヘシ

第七條 凡ソ金員ノ記載アル帳簿ハ他ヨリ覽觀ヲ乞フ

ル者アルハ妄リニ之ヲ展繼セズ且ルヲ許サス他ヨリ照

査ヲ乞フ者アルハ主簿者自ラ照校シテ其當否ヲ報ス

第八條 凡ソ其日ニ出納スル金員ハ其日ニ於テ帳簿ニ

記入調成シ其領收スル所ノ決議報告等ノ書類ニ照査

完了スルヲ以テ則トス

第九條 現金受拂簿日記簿原簿豫算簿

右四簿ハ大藏卿ノ承認ヲ經サレハ之ヲ増損取捨スル

ヲ許サス

第十條 前條ノ四簿及ヒ補助簿ハ金庫カ又ハ堅牢ノ倉

庫ニ藏メ各廳適宜ノ法則ヲ設ケ主簿者ヲシテ日々之

レヲ出納監守セシムヘシ

(參考) 明治十一年九月三十日太政官第

四十二號ヲ以官省院使府縣へ達

金錢山納簿記ノ儀明治十二年十月ヨリ複記法ニ改正

可致尤既ニ複記法習熟ノ向ハ即今ヨリ改正不苦候條

改正ノ上ハ大藏省へ可申出此旨相達候事

但シ簿記條例及ヒ模本等ハ大藏省ヨリ可相達候事

○水源規則

明治十一年十月二十九日
警視局甲第五十七號達

神田玉川兩水源取締假規則左ノ通來ル十二月一日ヨリ
施行候條此旨布達候事

第一條 魚鳥ヲ捕及ヒ游泳及ハ諸物品ヲ洗フヘ

カヲ

第三條 塵芥瓦礫其他汚穢物ヲ投棄スヘカラス

第三條 上水ニ沿フタル各地面ヨリ汚水混入セサル

様注意スヘシ

第四條 堤上ノ竹木及ヒ下草等根ニ伐採スヘカラス

第五條 前條ノ場合ハ勿論其他水上ニ屬スル堤防等

破損ノ場所アラハ巡行ノ巡查又ハ最寄警視分署へ

告知スヘシ

(參考) 明治十一年五月九日警視本署

乙第十八號ヲ以區長戸長へ達

不潔ノ水ヲ飲料ニ用フル時ハ人身ノ健全ヲ害スルハ

勿論ニ候處從來都下ノ風習ニテ粗造ノ井戸側ヲ用ヒ

水源規則

或ハ甲板下水ノ設ケナク或ハ下水ノ設ケアルモ頗ル
 接近スルヲ以テ溜滞ノ汚水自然井戸中ニ滲入シタメ
 ニ水ノ素質ヲ變換スルノ患害甚カラス就中傳染病流
 行ノ際ニ於テハ最モ忽カセニス可ラサル儀ニ候條自
 今共有私有ノ別ナク別紙飲料水注意法ニ照シ新調又
 ハ補理候様無遺漏各自ニ懇篤可謙達此旨相達候事
 但時々警視官吏巡廻實地檢査ニ可及候事

飲料水注意

- 一 井側ノ破壊シテ汚水滲透スルノ患アルモノハ速カ
 ニ新調スヘシ
- 一 井戸流シノ大破スルモノハ新調シ其小損スルモノ
 ハ板及ヒ埴土等相應ノモノヲ以テ精密ニ壅塞スヘ

シ

- 一 凡ソ井戸ニ下水ナキモノハ新タニ作ルヘシ
 但下水ハ能ク水ノ流通スル様注意スヘシ
- 一 土地ノ高低或ハ人家稠密等ニヨリテ下水ヲ設クル
 ニ差支ル場所ハ地形其他ノ事ヲ商量シ漸次下水開
 設ニ注意スヘシ
- 但本文ノ場合ニ於テハ府廳ノ檢査ヲ乞ヒ指圖ヲ
 受クヘシ
- 一 前條土地ノ摸樣ニヨリ下水ヲ流通スル路ナキ場所
 ニ於テハ當分汚水溜ノ設ケアルモ妨ケスト雖井
 戸ヲ距ル一二間以上タルヘシ
- 但地處狹隘ニシテ二間以内接近セサルヲ得ナル

水源規則

- 場所ハ板又ハ墜土ヲ以テ汚水ノ漏レキル様ニシ
- 一 井戸ヨリ三間以内ノ厨房ヲ新クニ作ルヘカラス
- 但現在設置ノ分ト雖モ修繕等アル毎ニ本文ニ準
- スヘシ
- 一 井戸近傍ニ於テ糞糞虎子等汚穢ノ物品ヲ洗滌シ及
- 魚鳥ノ骨腸等ヲ棄ツヘカラス
- 一 呼井戸ノ水管破損スルト認ムルキハ速カニ之ヲ補
- 理スヘシ
- 一 上水井ニ於テハ汚濁且塵埃等アルカ又ハ臭氣ヲ含
- ム者アラハ速カニ府廳又ハ該區務所ヘ調査ノ儀申
- 出ヘシ

一 毎年少クシテ一度ツ、井戸浚ヲナスヘシ

○ 海軍兵器局定雇職工規則

明治十一年十二月十八日
海軍省甲第三號布達

當省兵器局定雇職工規則別冊ノ通取設候條此旨布達候
事

海軍兵器局定雇職工規則

第一條 海軍兵器局定雇職工志願ノ者ハ年齢十五年ヨ

リ四十年迄ヲ限リ年期ヲ定メ入業差許ス可キ事
但四十年以上ト雖モ工業格別巧ミコシテ身體強壯
ナル者ハ適宜年期ヲ定メ入業差許ス儀モアリヘシ

第二條 定雇職工ハ各其望ム所ニ任セ業ヲ課スヘシ其

課業左ノ如シ

機工鍛工鑄工銃工火工銅工木工革工鋼工製圖

但シ望ム所ノ課業既ニ滿員セルトキハ其課ニ入

ルヲ許サズ

第三條 定雇職工年期左ノ如シ

年齢滿十五年ヨリ同十九年マテノ者 十個年

同 二十年ヨリ同二十三年マテノ者 七個年

同 二十四年ヨリ同廿六年マテノ者 五個年

同 二十七年ヨリ同四十年マテノ者 一十個年ヨリ

三個年マテ

但定則ヨリ永年期願出スル者アルキハ臨時詮議ノ

上適宜年期ヲ定メ入業差許ス儀モアルヘシ

此年期中ハ何様ノ事故アルモ決テ退業セシムヘカラ

ナルハ勿論ト雖モ父兄ノ死亡ニ付相續等ニ係ル事故

明亮ノ者ハ郡區戸長奥印ノ上其所轄地方廳ノ添書ヲ

以テ兵器局ヘ願出ルトキハ詮議ノ上差許スヘキ事

第四條 定雇職工志願ノ者ハ身元引受人相立テ第一號

書式ノ願書ヲ認メ兵器局ヘ持參スヘキ事

第五條 定雇職工入業許可シ上ハ第二號書式ノ受書ヲ

差出サセ兵器局職工タル証トシテ第三號書式ノ印鑑

ヲ附與スヘキ事

第六條 定雇職工中行狀正直業務精勤ニシテ技術拔群

ノ者工長工手ニ撰舉採用スル儀モアルヘキ事

第七條 定雇職工ノ賃錢ハ其業ノ巧拙ニヨリ就業ノ日

一日三錢ヨリ六十錢迄ヲ以テ適宜ニ支給スヘキ事

但工業格別優等ノ者ハ此限ニ非ス

第八條 年期中本人病氣ニ因テ職業ニ堪ヘ難キモノハ
海軍醫官検査ノ上退業ヲ許スヘキ事

第九條 諸職工ノ内年期アルヲ定雇職ト稱シ年期無キ
ヲ日雇職ト稱スヘキ事

第十條 十五年未滿ノ者ト雖モ工業巧ニシテ將來成熟
スヘキ見込有ルモノハ十個年以上ノ年期ヲ以テ入業
差許ス儀モアルヘキ事

第十一條 年期滿期ノ後尙定雇職工ヲラント願フ者
ハ其望ム所ニ依リ適宜ニ期限ヲ定メ更ニ入業差許ス
ヘキ事

但願書并ニ受書差出方ハ第四號第五號書式ノ通

第十二條 定雇職工ノ格別勉強セシ者滿期退業スルカ

或ハ年期中死亡スル時ハ其受ル所ノ日給賃錢ニ應シ
滿一個年ニ付十五日分ノ金額ヲ手當トシテ給與スヘ
キ事

但年期計算方ハ入業ノ月ヨリ退業迄ノ日數ヲ以テ
通算スヘシ尤百日以上引續キ休業スルモノハ其日
數ヲ除去スヘシ

第十三條 繼年期ノ者ハ第十二條ノ割合ヲ以テ前後ヲ
通算シ手當金給與スヘキ事

第十四條 定雇職工繼年期ヲ以テ滿二十個年以上勤續
シテ退業或ハ死亡ノ者ハ定則手當金ノ外相當ノ賞金
給與スヘキ事

第十五條 定雇職工就業中過テ負傷スル時ハ官費ヲ以テ治療ヲ加ヘ其傷痕明治八年第五十四號公達官役人夫死傷手當規則ニ照準取扱ヲナスヘキ事

第十六條 日雇職工ノ内組成業ノ者ハ技術官ノ見込ヲ以テ年齢ヲ不論兵器局長ニ申出第三四五條ノ手續ヲ以テ定雇職工ニ組入適宜ノ年期ヲ定ムル儀モアルヘキ事

但シ滿期手當金ハ最初入業ノ月日ヨリ通算給與スヘシ
第十七條 従前雇入ノ諸職工ト雖モ此際定雇職工志願ノ者ハ第三四五條ノ手續ヲ以テ更ニ願出ヘシ勿論年期ハ許可シ月ヲ以テ初期ト定ムヘキ事

但滿期手當金通算方ハ前條ニ同シ

第一號

定雇職工入業願書式

料紙美濃紙
二ツ折二通

定雇職工入業願

何府何國何郡何町何番地住又ハ寄留
何縣何國何郡何村何番地住又ハ寄留
士族平民何某男或ハ弟
何年何月何日何國郡何町何村ニ於テ生 何 某 年 齡

右ハ御局定雇職(何工)志願ニ付何个年期ニ御採用被下度
請人連名ヲ以テ此段奉願候也

年號月日

右本人

何某印

何府何國何郡何町何番地住又ハ寄留
何縣何國何郡何村何番地住又ハ寄留
士族平民
身元引受人 何 某 印
受人若シ同籍ノモノアレハ
書ニ本人父兄何々ト認ムヘシ

海軍兵器局

御中

前書之通願出候ニ付與印仕候也

何郡何町

戶長

何 某 印

本人現在 區郡ノ戶長ナリ

願之通

年號月日

海軍兵
器局印

第二號

入業許可辨ノ時證書按

料紙美濃紙
二ツ折二通

何府何國何郡何町何番地住又ハ寄留

何 某 印

年 齡

右ハ御局定雇職(何工)當何月ヨリ何个年期ヲ以入業ノ儀
御許容被下置候ニ付テハ總テ御規則ノ次第堅相守リ其
他都度々々御達筋等決テ違背不仕候萬一不頁ノ所爲等
於有之ヲハ至當ノ御處分相受可申候依テ證書如此ニ候
也

右本人

何 某 印

年號月日

海軍兵器局定雇職工規則

何府何國何郡何町何番地住又ハ寄留

士族平民

身元引受人

何某印

海軍兵器局

御中

前書之通相違無之候仍ヲ與印仕候也

何郡何町

戶長

何某印

本人現在區ノ戶長ナリ

第三號

兵器局ヨリ本人ハ渡置印鑑式

村紙紙程

五寸

工籍何號

何府縣何國何郡何町何番地

士族平民何某男或ハ弟

何職

何某

年 齡

七寸

何年何月ヨリ何个年期ナ

以テ定雇職工差許候事

年 號 月 日

海軍兵器局印

工手以上ニ登用ノ者或ハ退業ノ者ハ此印鑑返納スヘシ

第四號

定雇職工繼年期入業願書式

料紙美濃紙
二ツ折二通

定雇職工入業願

何府何國何郡士族平民何某男或ハ弟

何年月日何國何郡何町ニ於テ生

何 某

年 齡

右者御局定雇職工何年何月ヨリ何今年期ニ御採用被下
置候處何年何月ニテ滿期ニ付同年何月ヨリ更ニ何今年
期入業御採用被下度請人連名ヲ以テ此段奉願候也

右本人

年號月日

何 某 印

海軍兵器局

御中

前書之通出願候ニ付與印仕候也

何郡何町

戶長

本人現住郡ノ戶長ナリ

何 某 印

願之通

年號月日

海軍兵器局印

海軍兵器局定雇職工規則

何府何國何郡何番地住又ハ寄留

士族平民

身元引受人

何 某 印

受人若シ同籍同居ノ者クシテ肩
書ニ本人父兄何々ト認ムヘシ

第五號

繼年期入業許可濟ノ聯証書按

料紙美濃紙
二ツ折二通

請書

何府何國何郡何番地住又ハ寄留
何縣何國何郡何番地住又ハ寄留
士族平民何某男或ハ弟

何某

年齡

右者御局定雇職工何年何月ヨリ何今年期入業御許可被
下置候處何年何月ニテ滿期ニ付同年何月ヨリ更ニ何个
年期入業御許可容被下候ニ付テハ總テ御規則ノ次第堅ク
相守リ其他都度々々御違筋等決メ違背不仕候萬一不長
之所爲等於有之ハ至當ノ御處分相受可申候仍テ証書如
此ニ候也

右本人

年號月日

何某印

何府何國何郡何番地住又ハ寄留
何縣何國何郡何番地住又ハ寄留

士族平民

身元引受人

何某印

海軍兵器局

御中

前書之通相違無之仍テ與印仕候也

何郡何町
何區何村

本人現在區ノ戸長ナリ

戸長

何某印

海軍兵器局定雇職工規則

前各條ノ手續ヲ以テ入業許可濟受書爲差出候ハ、其旨
兵器局ヨリ本管廳へ通知スヘキ事

九〇〇

○官省使府布令要領 自明治十一年七月

太政官布告

第十七號 七月廿二日

郡區町村編制法ヲ被定

第十八號 七月廿二日

府縣會規則ヲ被定

第十九號 七月廿二日

府縣費區費ヲ改メ地方稅トシ右規則被定

第二十號 八月三日

常備兵役ヲ竟サル前分家不相成但免役概則ニ係ル

者代人料上納スル者ハ分家ヲ許サル

第廿一號 八月九日

布令要領太政官ノ部

九〇一

藥用阿片賣買並製藥規則ヲ被定

第廿二號 八月廿八日

新舊公債証書發行條例中改正

第廿三號 九月三日

開拓使管下札幌ノ裁判所ヲ置キ宮城上等裁判所々
轉ニ被定

第廿四號 九月七日

内國製ノヲキル紋羽綾木綿ノ三種無稅輸出被差許

第廿五號 九月九日

金祿公債証書下付ニ付書入質入賣買被差許

第廿六號 九月十三日

九年第百八號布告金祿公債証書發行條例第二條但

書追加

第廿七號 九月十九日

十年第七號布告賣藥規則中改正

第廿八號 九月廿八日

酒類稅則中改正追加

第廿九號 九月廿八日

國立銀行條例第十五章稅額ハ銀行紙幣下付高ノ千
分ノ七年々徵收セラル

第三十號 九月三十日

第八號布告株式取引條例第十一章ニ掲載スル稅額
高十分ノ一ト被定

第卅一號 十月一日

國立銀行條例第五十七條貸付金利息改正

第卅二號 十月十五日

八年第六十六號布告內國船難破及漂流物取扱規則

中增加

第卅三號 十月廿一日

違式註違條例中贈金ヲ科料ト改メ同條例第三條改

正

第卅四號 十月廿一日

租稅未納者怠納金處分更定布告中追加

第卅五號 十一月廿六日

八年第三十五號公布貿易一圓銀(圖書改正ノ分)ヲ再

録發行

第卅六號 十二月二日

帶動有位ノ輩新年并紀元節天長節參賀ノ儀被定

第卅七號 十二月九日

九年第五百五十四號公布西洋形船氷先免狀規則改正

第卅八號 十二月十九日

明治十二年郵便規則及ヒ罰則被定

第卅九號 十二月二十日

地方稅中(營業雜種)稅ノ種類制限ヲ被定

太政官達

第一號 一月十七日 官院省 使府縣

本年一月以降勘定帳改正ニ付八年百四十九號達勘

定帳書式ノ内乙號通算表明細表共差出ニ不及等ノ

布令要領太政官ノ部

儀

第二號 一月十七日 同上

金穀及物品出納ノ實況檢査ノ爲メ大藏省官員毎歲
派出ニ付檢査員派出條例ヲ定ム

第三號 一月十九日 同上

明治九年第六十四號達旅費定則第八章中神官旅費
等級改正ノ儀

第四號 一月廿八日 東京府及賊徒徒役
鹿兒島逆徒征討始末編輯候ニ付事情詳悉ノ者筆記
ノ儀

第五號 二月十九日 官院省
海軍文武官等表中海兵部被廢ノ旨

第六號 (欠號)

第七號 三月四日 官院省
使府縣

月俸規則第九條改正ノ儀

第八號 三月五日 同上

賞勳局長官副長官被廢更ニ總裁副總裁被置

第九號 三月十五日 府縣

議院憲法並議事規則別冊改定ノ儀

第十號 三月廿一日 官院省
使府縣

文武官兼任ノ者着服ノ制定

第十一號 四月五日 同上

內務省ニ於テ英國郵便船乘組切手發行ニ付切手受
取方ノ儀

布令要領太政官ノ部

第十二號 四月十一日 同上

警視局大警部以下二等警部補迄更ニ被置

第十三號 四月十七日 官院

諸官員華族ヨリ圖書及諸器等献納ノ節賞與ノ儀十年十七號ヲ以テ相違候處一般人民ノ儀モ同様内務

省ニ通知ノ儀

第十四號 四月廿九日 府

神社經費金ノ儀十年第九十一號ヲ以テ神官ヲ廢シ更ニ祭任以下職員官等相定候ニ付賜饌料等減額ノ

儀

第十五號 五月四日 使府

九年九十七號達中海外行免狀ノ儀自今廢止ノ儀

第十六號 五月十八日 同上

明治八年第四十九號醫員手當ノ件

第十七號 五月廿四日 開港開市有之使府

銃砲彈藥賣買免許商人出願候節取扱方ノ儀七年十九號八年百十一號達ノ趣モ有之候處今般第十一

號布告ノ趣モ有之ニ付自今外國人ニ獵銃賣渡候節

ニ限リ地方廳ニ於テ聞届ノ儀

第十八號 五月廿七日 官院

今般第十二號布告賣買銀ヲ一般通用貨幣ト被定候

ニ付明治八年第六十二號ヲ以相違候數位何圓何錢

何厘ト簿記可致ノ儀

第十九號 五月廿九日 同上

布令要領太政官ノ部

警視補以下禮帽服章改正ノ儀

第二十號 五月三十一日 同上

諸官員並御雇外國人ノ恩賜金等支出方ノ儀八年第
二百十號達府縣官員ハ其廳ヨリ支出ノ儀

第廿一號 五月三十一日 使府

會々奏任以上ノ官ニ被任現時非役ノ者死去ノ節ハ
其時々太政官ニ可届出ノ儀

第廿二號 六月五日 官院省
使府縣

綏靖天皇以下後櫻町天皇迄御歴代御式年等ノ儀

第廿三號 六月五日 同上

明治六年第三百四十四號布告休暇日ハ春秋二季祭
日ヲ被加

第廿四號 六月廿日 同上

宮内省中皇后宮大夫皇后宮亮被定

第廿五號 六月廿四日 府

今般御陵墓地所轄宮内省ニ被屬候條自今該地ニ係
ル事件ハ同省ニ可届出ノ儀

第廿六號 六月廿七日 官院省
使府縣

明治五年第三百三十一號九年第九十四號達被廢ノ
儀

第廿七號 七月三日 同上

戰役死傷者扶助料概則別冊被定

第廿八號 七月八日 同上

九州地方賊徒征討費支出ノ儀本月三十日限リ閉鎖

布命要領太政官ノ部

第廿九號 七月十二日 府內務省

近來國事政體ヲ談論スルノ目的ヲ以テ演說會ヲ開
キ候者有之警視官ニ於テ視察ヲ加ヘ國安防害ニ涉
ル者ハ差止方ノ儀

第三十號 七月廿二日 府

今般第十九號布告ノ通地方稅ヲ以テ支辨スヘキ費
目相定候ヘキ費目中官費支出ニ係ル者ハ尙從前ノ
通りノ旨

第卅一號 七月廿四日 官院省
陸軍樂部正服改正

第卅二號 七月廿五日 官院省
使府縣

八年第二百三號 達府縣職制事務章程ヲ廢シ府縣官

職制更ニ別冊之通被定

第卅三號 同月同日 府縣

前同伴

第卅四號 七月三十一日 官院省
使府縣

出納續閉期限相定明治十一年度ヨリ施行ノ儀

第卅五號 八月三日 府

九年第七十五號 達縣官任期例改定ノ儀

第卅六號 八月十四日 開拓使
海府縣

十年第七十九號 達朝鮮人民漂着ノ節漂難船處分ノ

儀相達候處更ニ追加

第卅七號 八月廿九日 官院省
使府縣

布令要領太政官ノ部